

令和3年度 尾道市市民満足度調査の結果

尾道市では、平成29年3月に「尾道市総合計画」を策定し、「元気あふれ人がつながり 安心して暮らせる ～誇れるまち『尾道』～」を本市が将来目指すべき都市像として掲げ、尾道らしい、尾道だからこそできる独創的なまちづくりを展開することにより、市民が誇れるまちの実現を目指しています。

このアンケート調査は、尾道市のまちづくりの取組について、広く市民のみなさまの考えや意見を把握し、これからの市政運営に役立てていくことを目的に実施したものです。

●調査の目的

尾道市総合計画前期基本計画の達成状況、今後のまちづくりの取組の方向性等に関する市民の評価・意向を把握し、後期基本計画策定の参考とする。

●調査の方法

調査対象者

○令和3年4月現在で18歳以上の市民3,000名（無作為抽出）

実施方法

○調査票配布方法：郵送

○調査票回収方法：郵送またはインターネット

調査期間

○令和3年5月

●調査票の回収結果

有効回収数は1,179票（有効回収率は39.3%）

【回答方法】

郵送・・・・・・・・・・1,045票

インターネット・・・・・・・・134票

1. 回答者の属性

性別は、「男性」が44.2%、「女性」が52.8%と、女性がやや多くなっています。

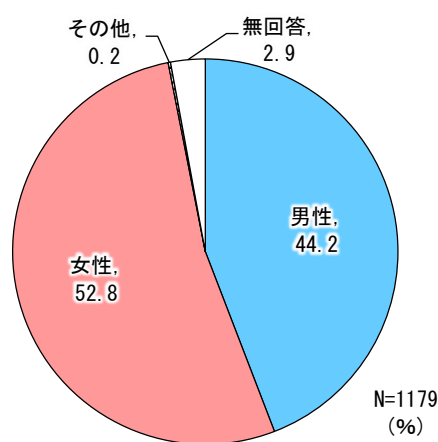
年齢は、「70 歳以上」が36.0%と最も多く、次いで「60～69歳」が21.6%、「40～49歳」が12.5%の順となっています。

家族構成は、「夫婦のみ」が33.6%、「本人と子どもの二世帯」が27.8%と多いですが、単身世帯を含め、比較的いろいろな家族構成に分散しています。

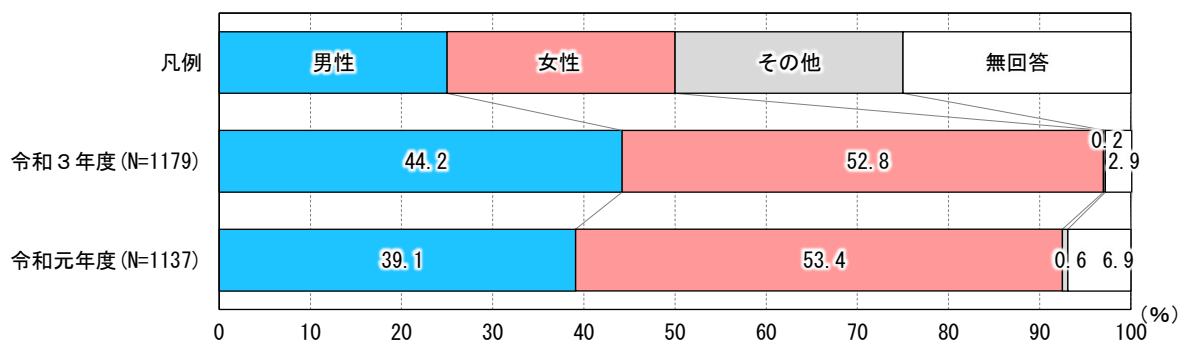
住所は「尾道（中部）」が20.9%と最も多く、次いで「向島」が16.0%となっています。

市内居住年数は、「20年以上」が79.1%と大部分を占めています。

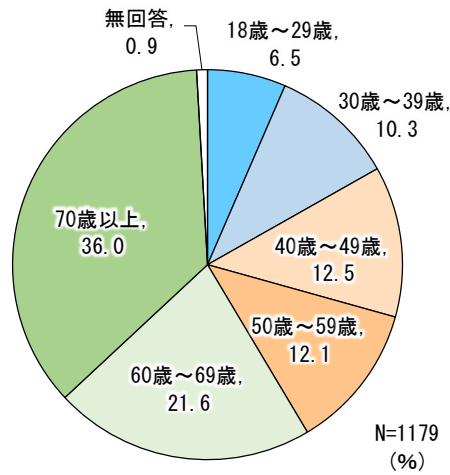
■性別



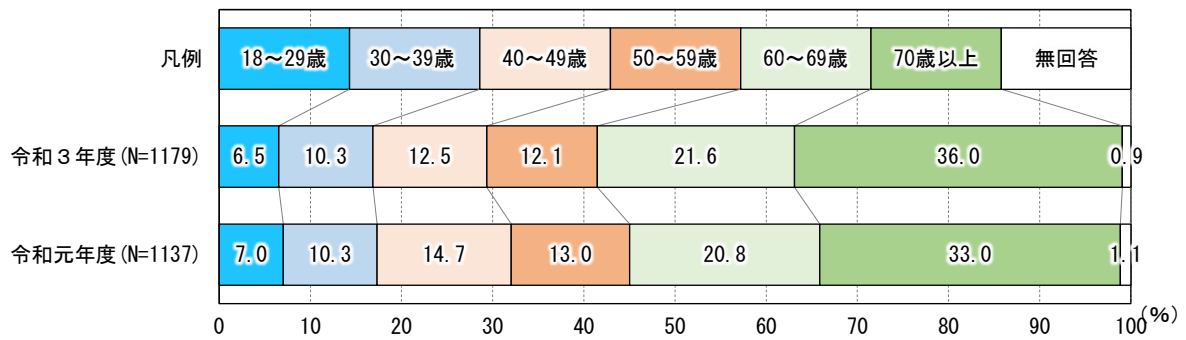
《令和元年度調査との比較》



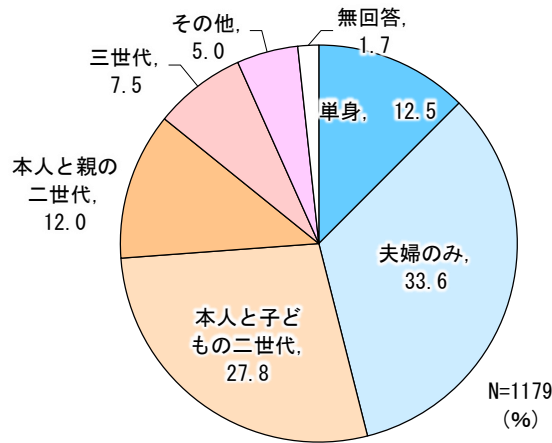
■年齢



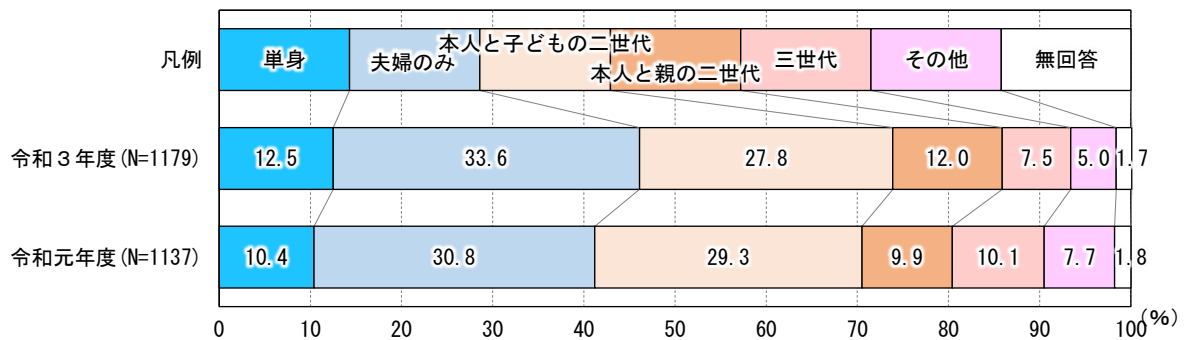
《令和元年度調査との比較》



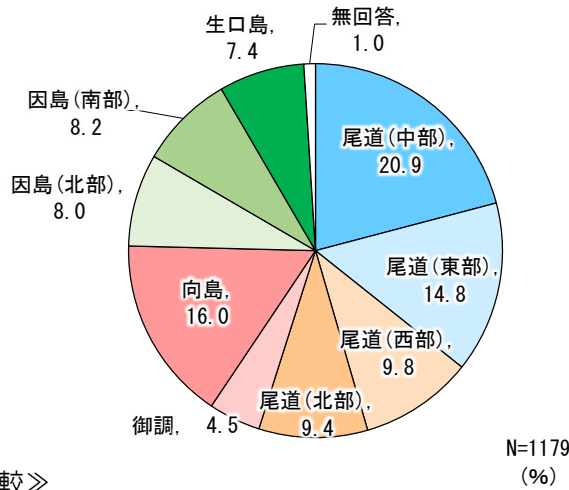
■家族構成



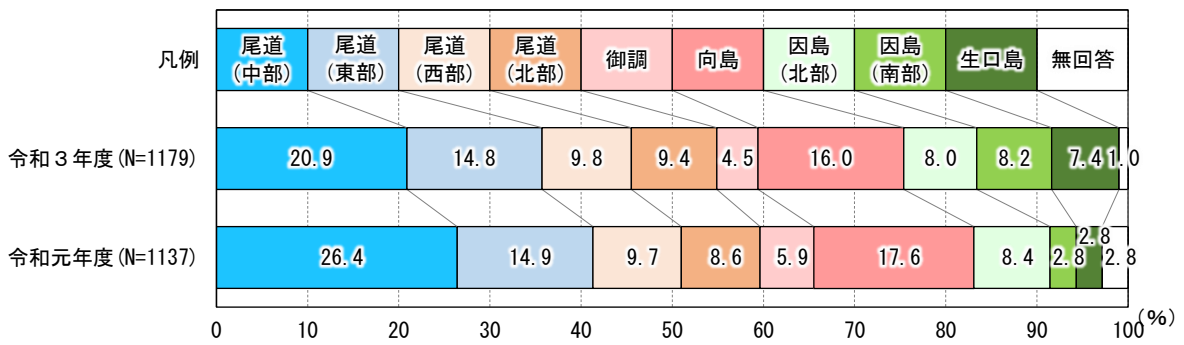
《令和元年度調査との比較》



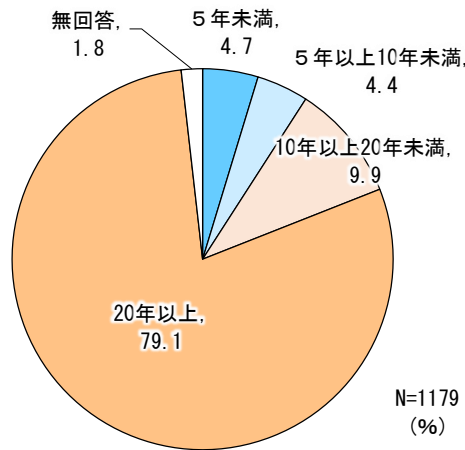
■住所



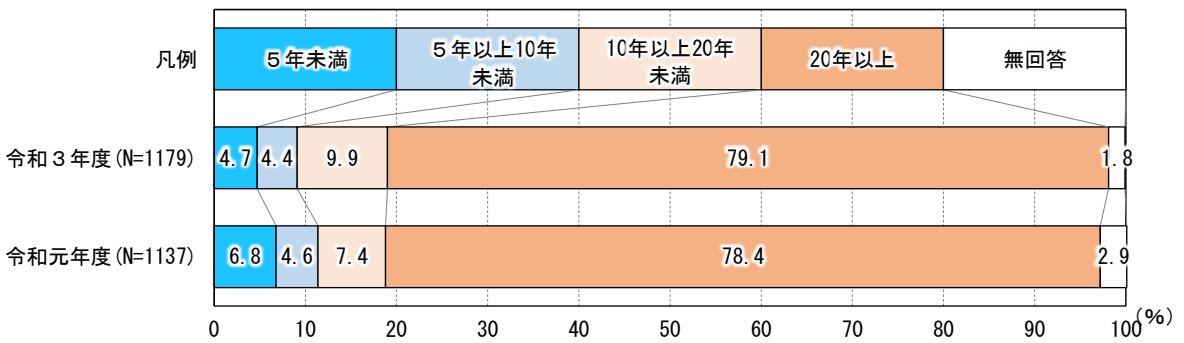
《令和元年度調査との比較》



■市内居住年数



《令和元年度調査との比較》



2. 暮らしに関する評価

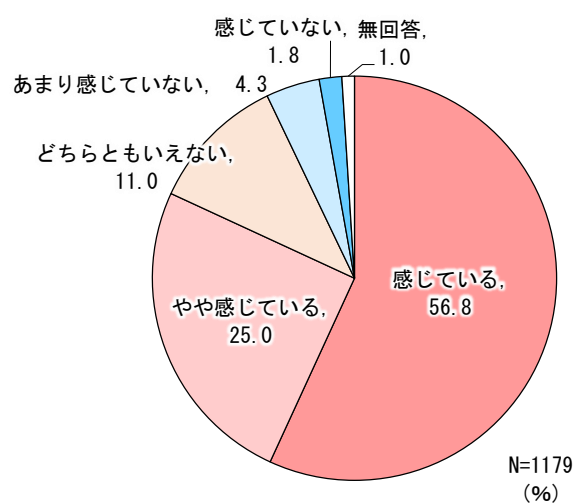
「尾道市への愛着」では、「感じている」が56.8%で最も多く、「やや感じている」の25.0%と合わせた『愛着を感じている』人は8割を超えています。

「尾道市民であることの誇り」では、「感じている」が41.1%で最も多く、「やや感じている」の25.8%と合わせた『誇りを感じている』人は7割近くを占めています。

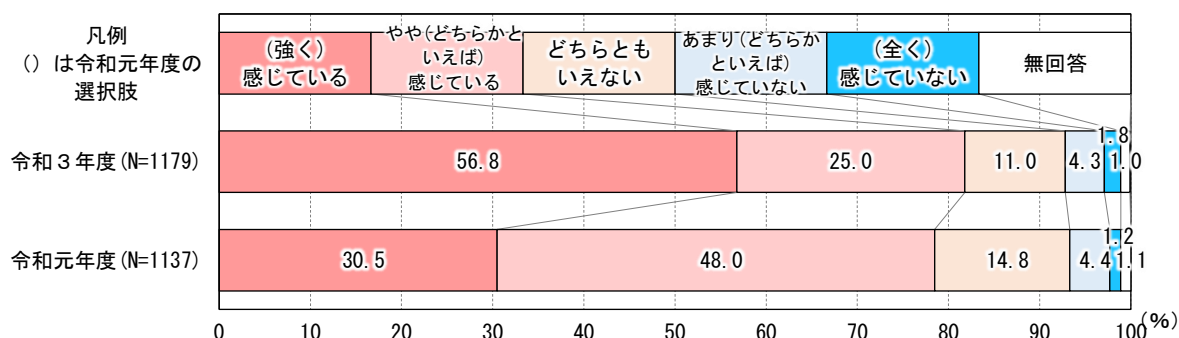
「尾道市の住みよさ」では、「住みやすい」が42.6%で最も多く、「やや住みやすい」の28.3%と合わせた『住みよいと感じている』人は7割を超えています。

「尾道市に住み続けたいか」では、「住み続けたい」が65.8%で最も多く、「当分の間は住み続けたい」の17.7%と合わせた『住み続けたいと考えている』人は8割を超えています。

■尾道市への愛着

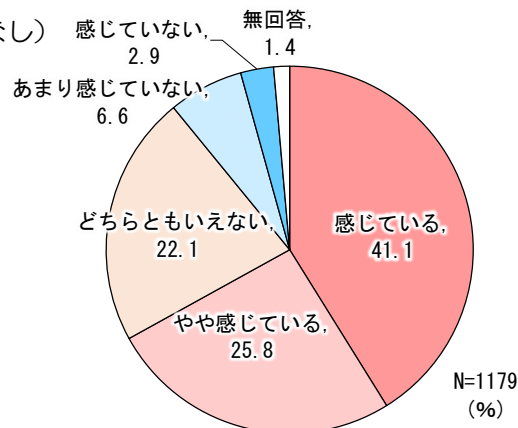


《令和元年度調査との比較》

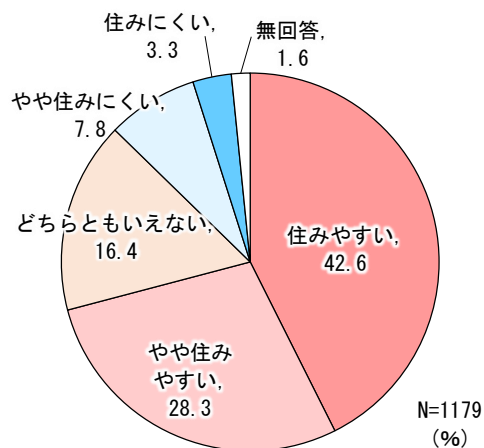


■尾道市民であることの誇り

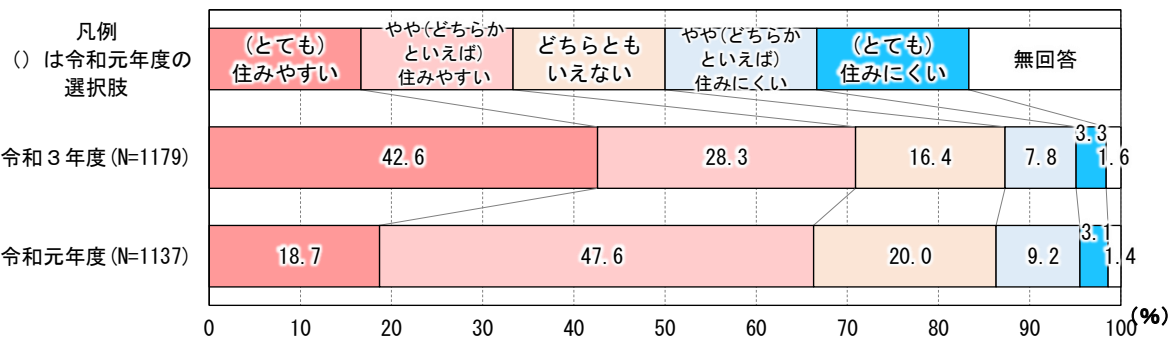
(令和元年度調査項目なし)



■尾道市の住みよさ

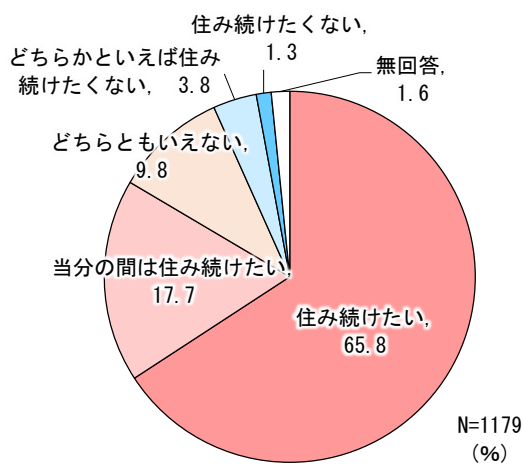


《令和元年度調査との比較》



■尾道市に住み続けたいか

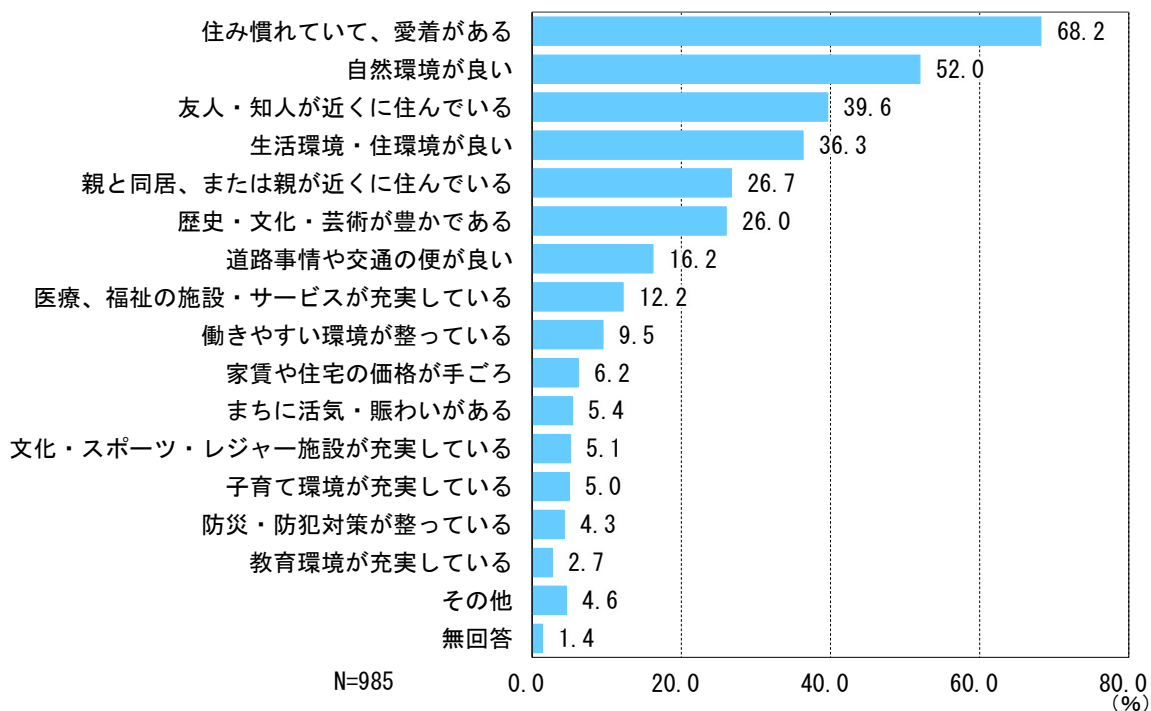
(令和元年度調査項目なし)



■住み続けたい理由

「住み慣れていて、愛着がある」が68.2%で最も多く、次いで「自然環境が良い」の52.0%となっています。

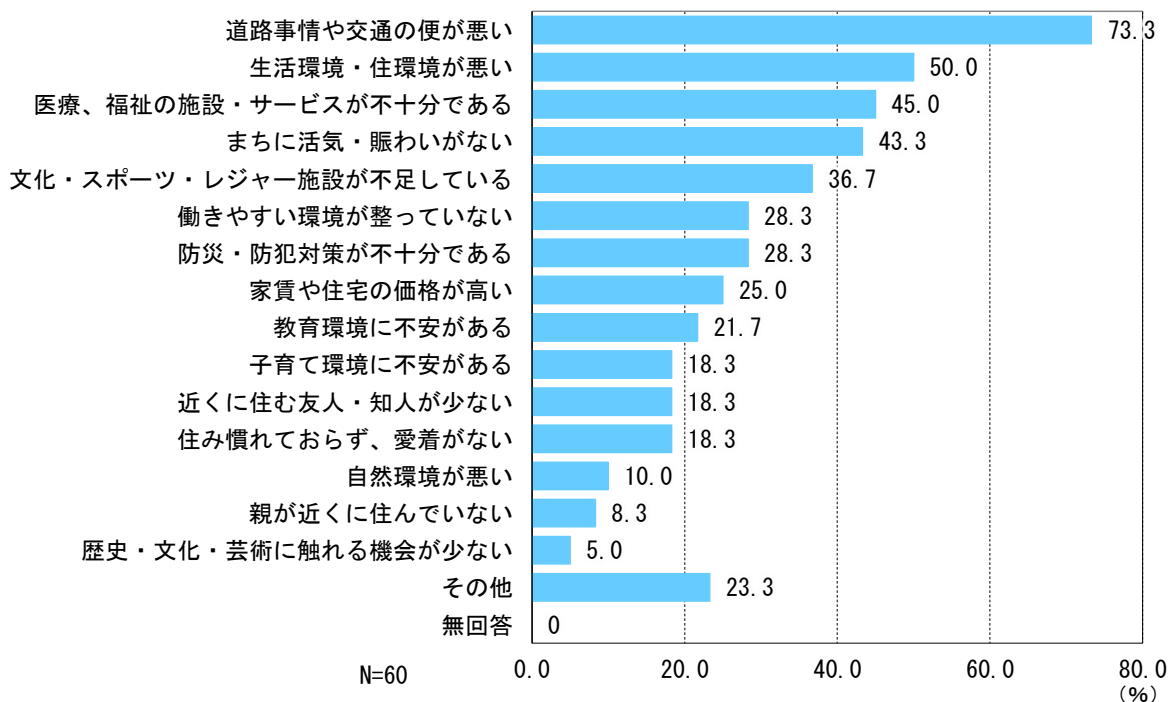
【住み続けたい理由（回答の多い順）】



■住み続けたくない理由

「道路事情や交通の便が悪い」が73.3%で最も多く、次いで「生活環境・住環境が悪い」の50.0%となっています。

【住み続けたくない理由（回答の多い順）】



3. 政策目標に関する評価

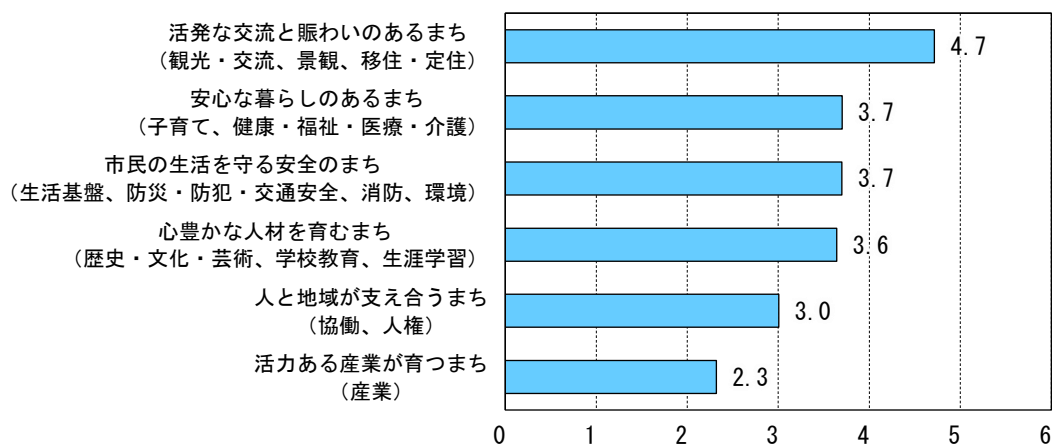
6つの政策目標の成果と重要性についておたずねしました。

グラフ内の値は、第1位：6点／第2位：5点／第3位：4点／第4位：3点／第5位：2点／第6位：1点として、それぞれの回答数に乗じた総和を有効回答数で除して算定しています。

(1) 過去5年間の取組の成果に関する評価

「活発な交流と賑わいのあるまち」が最も多く、次いで「安心な暮らしのあるまち」、「市民の生活を守る安全のまち」、「心豊かな人材を育むまち」の順となっています。

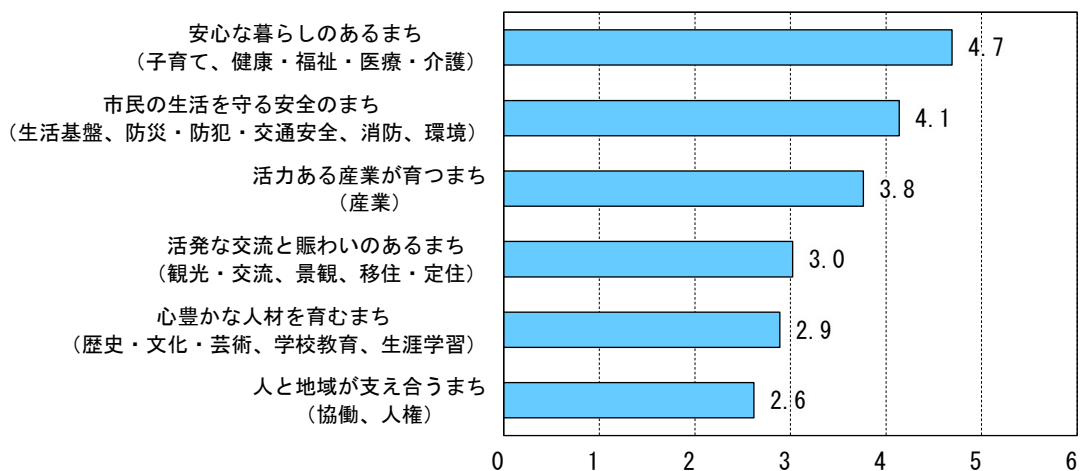
【過去5年間の取組の成果に関する評価（評価の高い順）】



(2) 今後5年間の取組の重要性に関する評価

「安心な暮らしのあるまち」が最も多く、次いで「市民の生活を守る安全のまち」、「活力ある産業が育つまち」の順となっています。

【今後5年間の取組の重要性に関する評価（評価の高い順）】



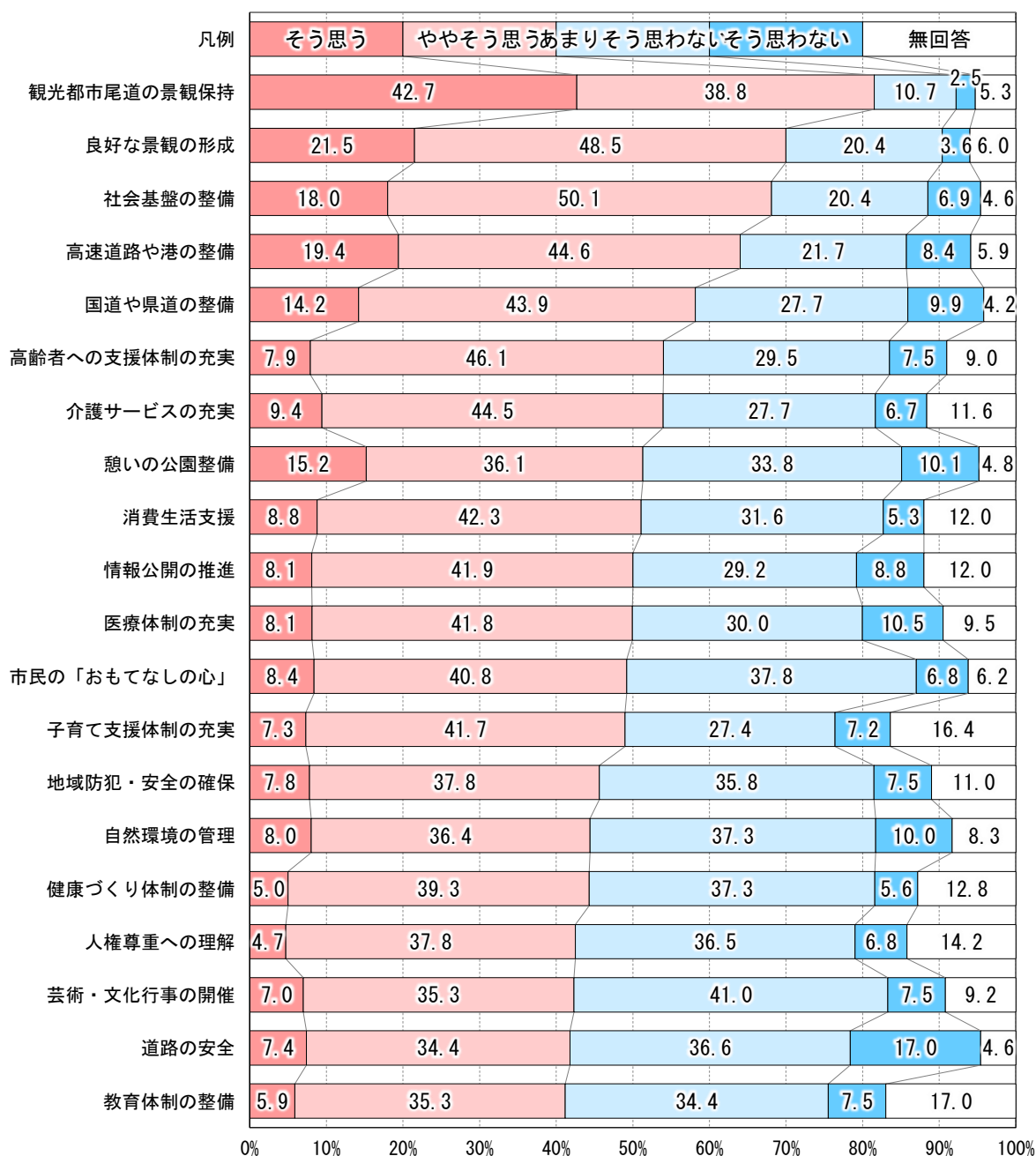
4. 施策目標に関する評価

(1) 現状の満足度評価

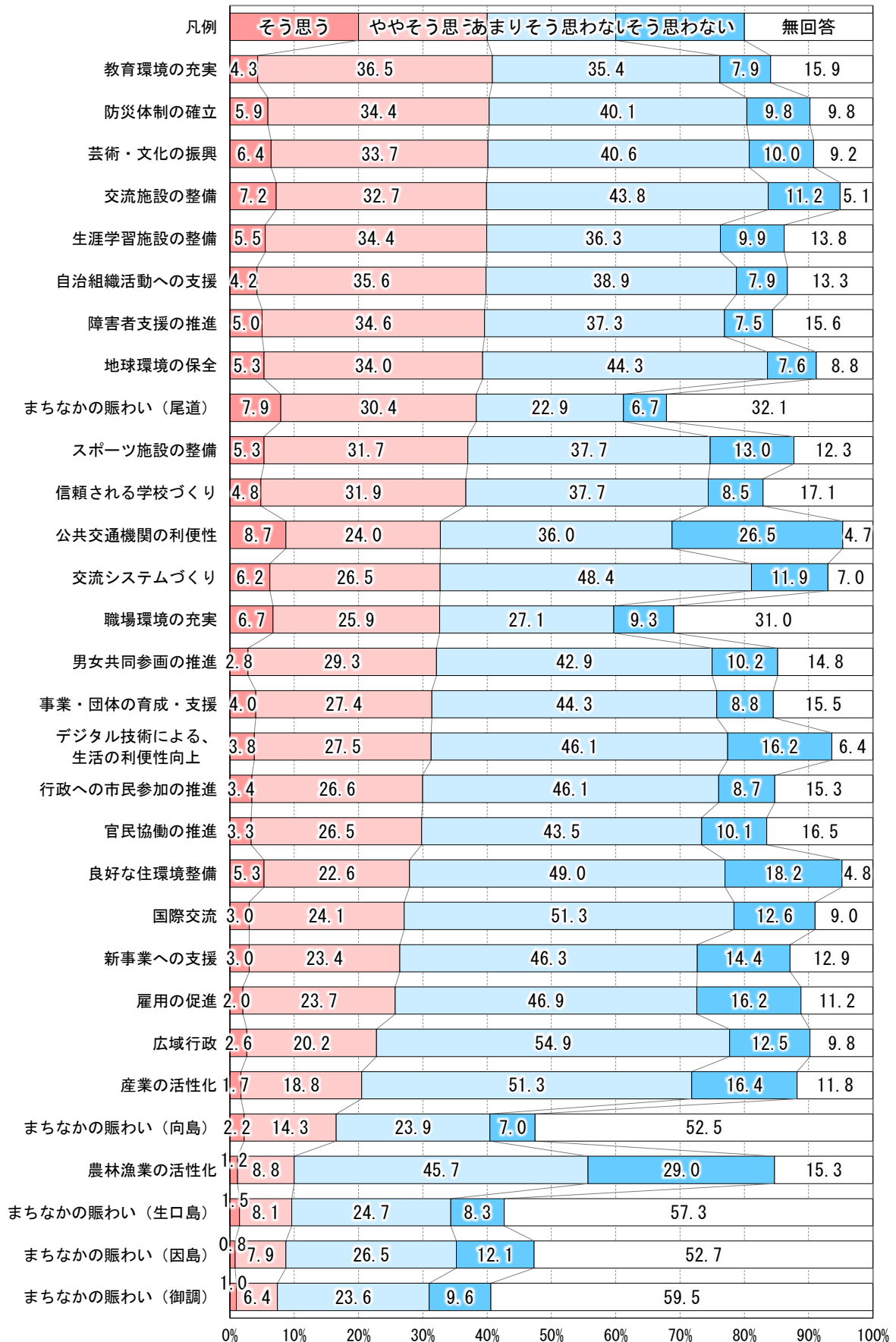
『満足している』（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）は、「観光都市尾道の景観保持」が8割を超え最も多く、次いで「良好な景観の形成」、「社会基盤の整備」の順となっています。

一方『満足していない』（「あまりそう思わない」と「そう思わない」の合計）は、「農林漁業の活性化」が74.7%で最も多く、次いで「産業の活性化」、「広域行政」の順となっています。

【尾道市での暮らしに関する「現状の評価」（満足度の高い順）】



【尾道市での暮らしに関する「現状の評価」(満足度の高い順)】(つづき)

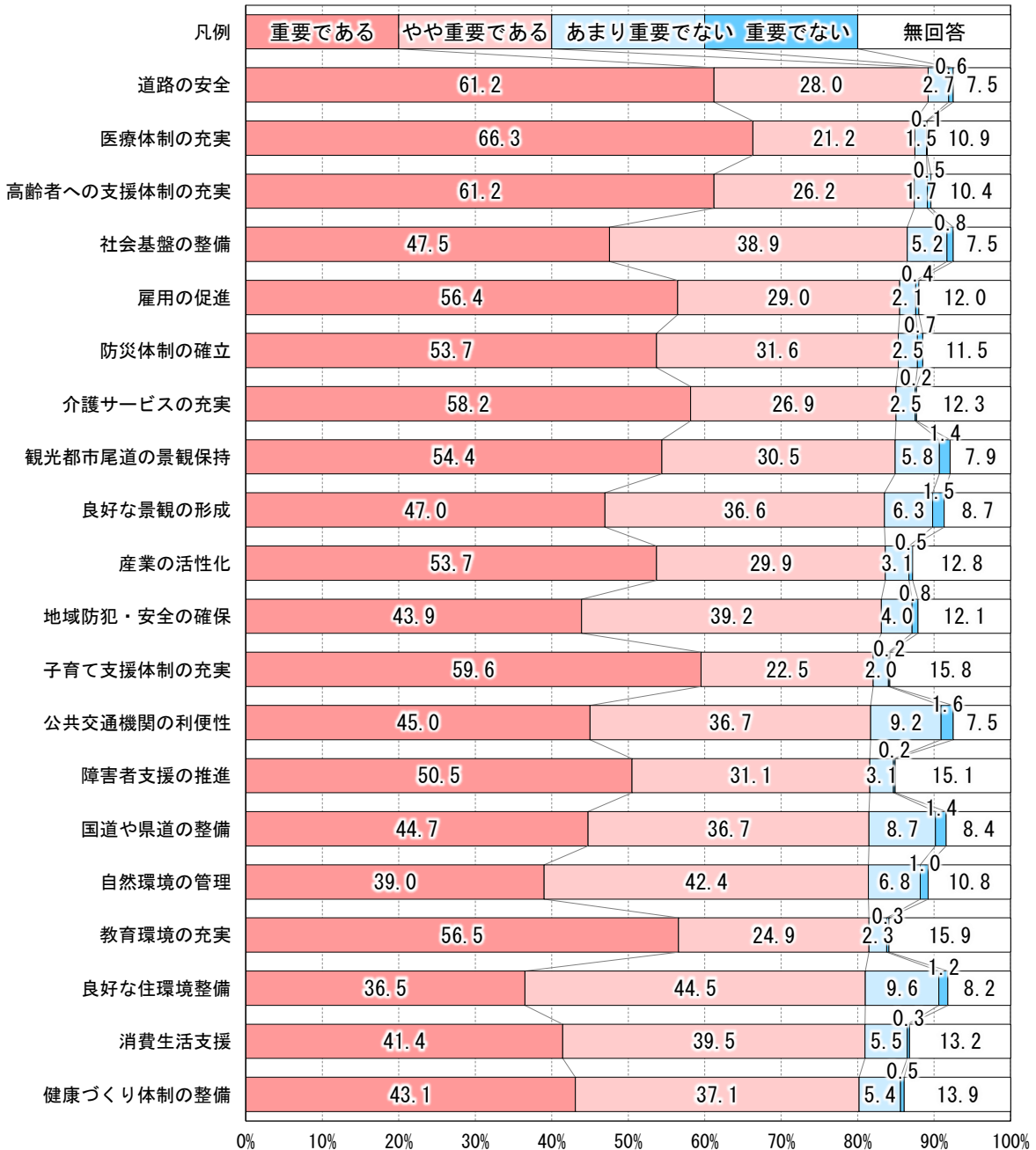


(2) 今後の取組の重要性

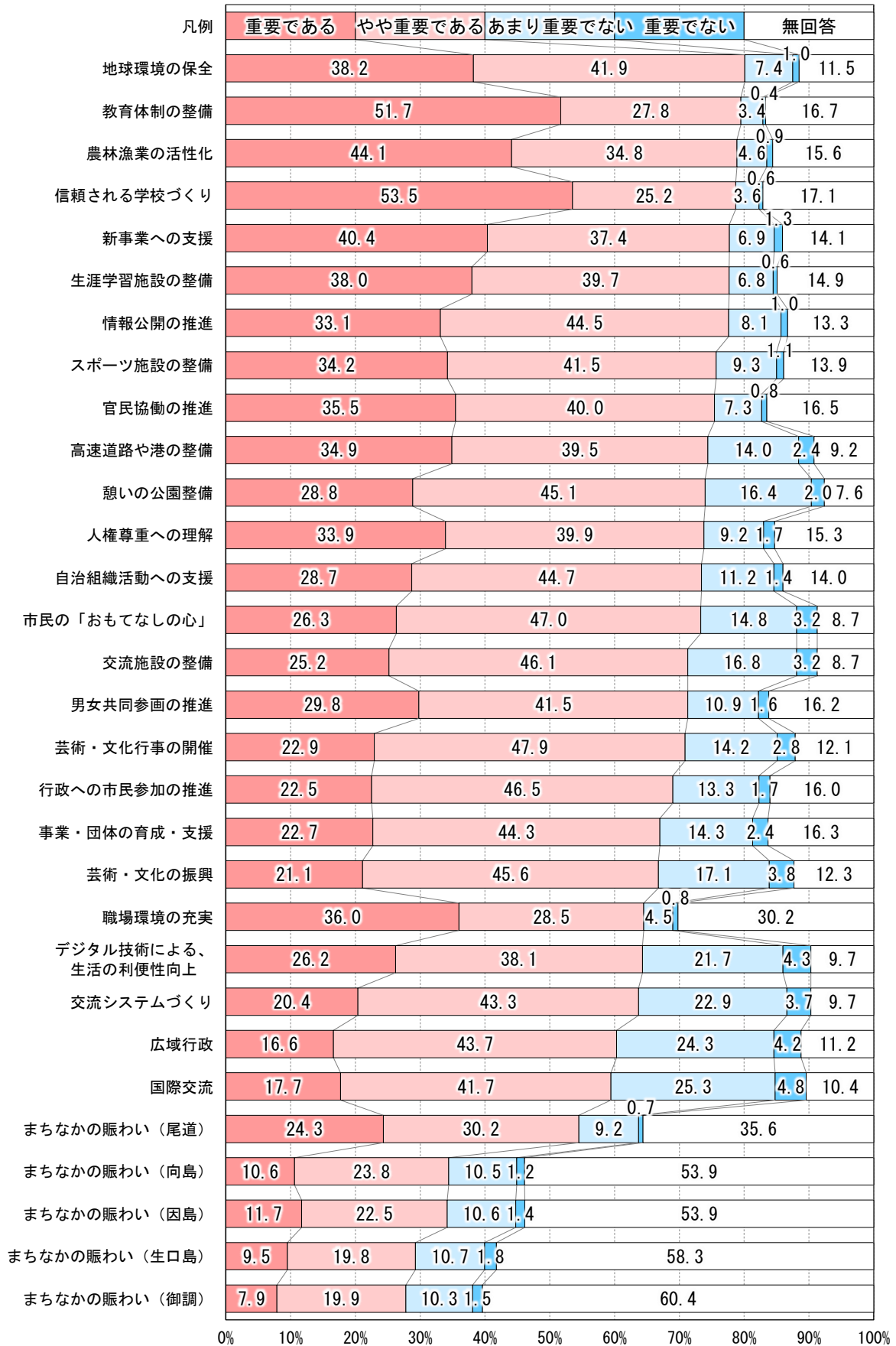
『重要である』（「重要である」と「やや重要である」の合計）は、「道路の安全」が9割弱で最も多く、次いで「医療体制の充実」、「高齢者への支援体制の充実」の順となっています。

一方、『重要でない』（「あまり重要でない」と「重要でない」の合計）は、「国際交流」が30.1%で最も多く、次いで「広域行政」、「交流システムづくり」の順となっています。

【尾道市での暮らしに関する「今後の取組の重要性」（重要度の高い順）】



【尾道市での暮らしに関する「今後の取組の重要性」(重要度の高い順)】(つづき)



(3) 満足度と重要度の対比分析

総合計画の施策目標について、(1)で現状の満足度、(2)で今後の重要度に関する評価を示しましたが、それらを前回調査と合わせて比較するため、満足度を横軸、重要度を縦軸として各施策目標の評価の分布を示したのが下のグラフです。右側に行くほど満足度が高く、上側に行くほど重要度が高いことを示しています。

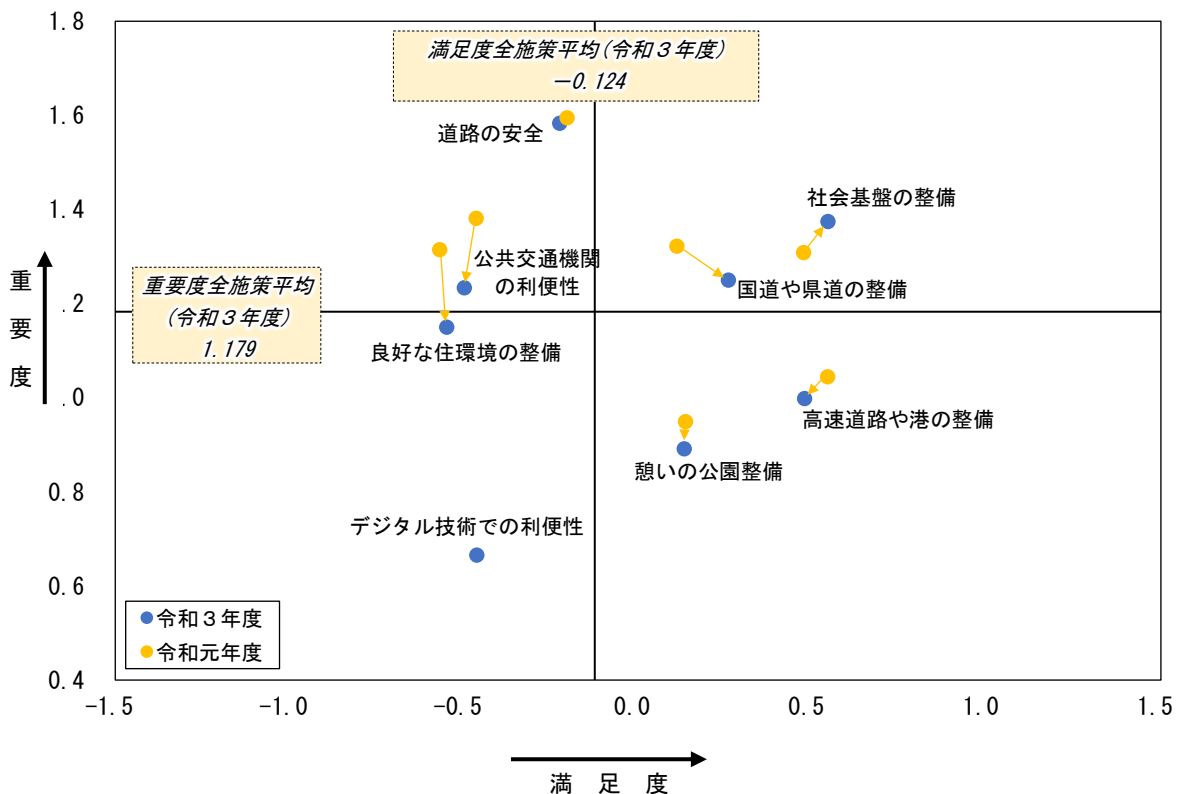
前回調査（令和元年度）と今回の調査結果から、その変化をみると、満足度では「国道や県道の整備」や「市民の「おもてなしの心」」、「良好な景観の形成」、「子育て・医療・福祉」分野の全項目、「安全・安心」分野の全項目などは満足度が大きく高まっています。

一方、「交流システムづくり」や「国際交流」、「芸術・文化行事の開催」などでは満足度が低下しています。

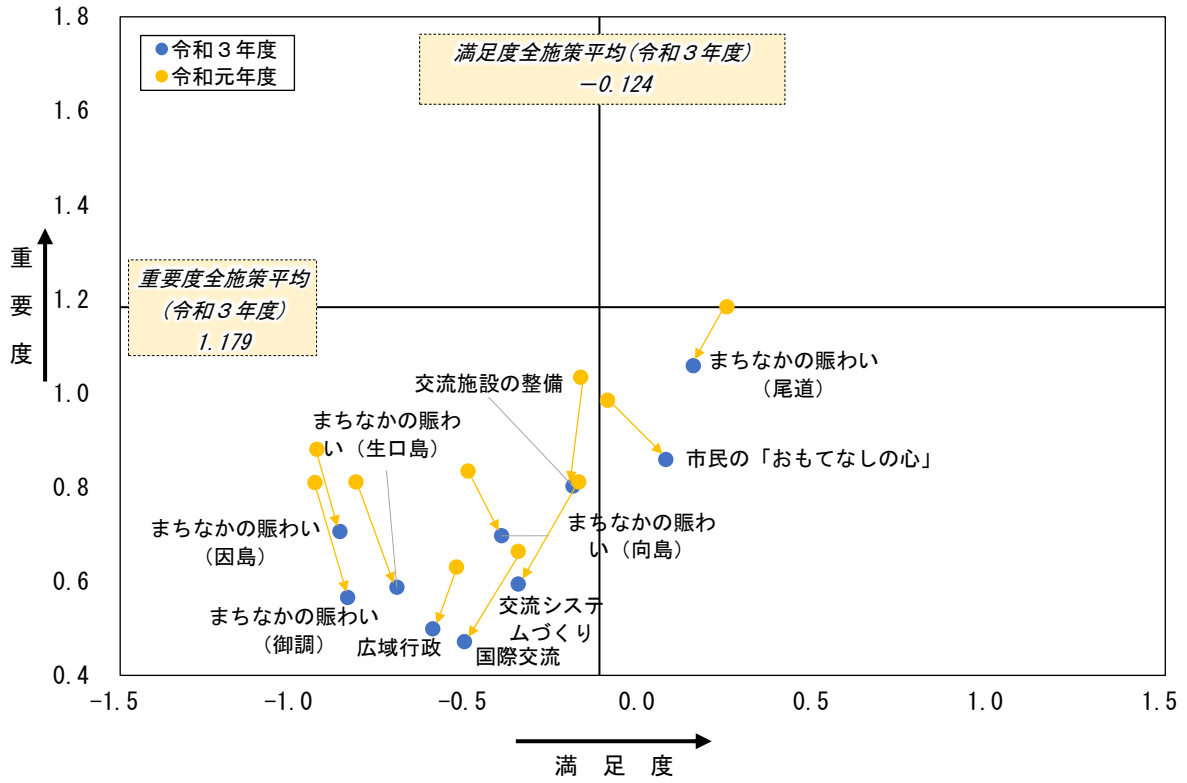
重要度の変化でみると、低下している項目が多いものの、「道路の安全」や「雇用の促進」、「教育環境の充実」、「子育て・医療・福祉」分野の全項目、「防災体制の確立」などは、変わらず重要度が高い評価になっています。

【尾道市の生活環境・取組に関する市民の満足度・重要度】（前回調査比較）

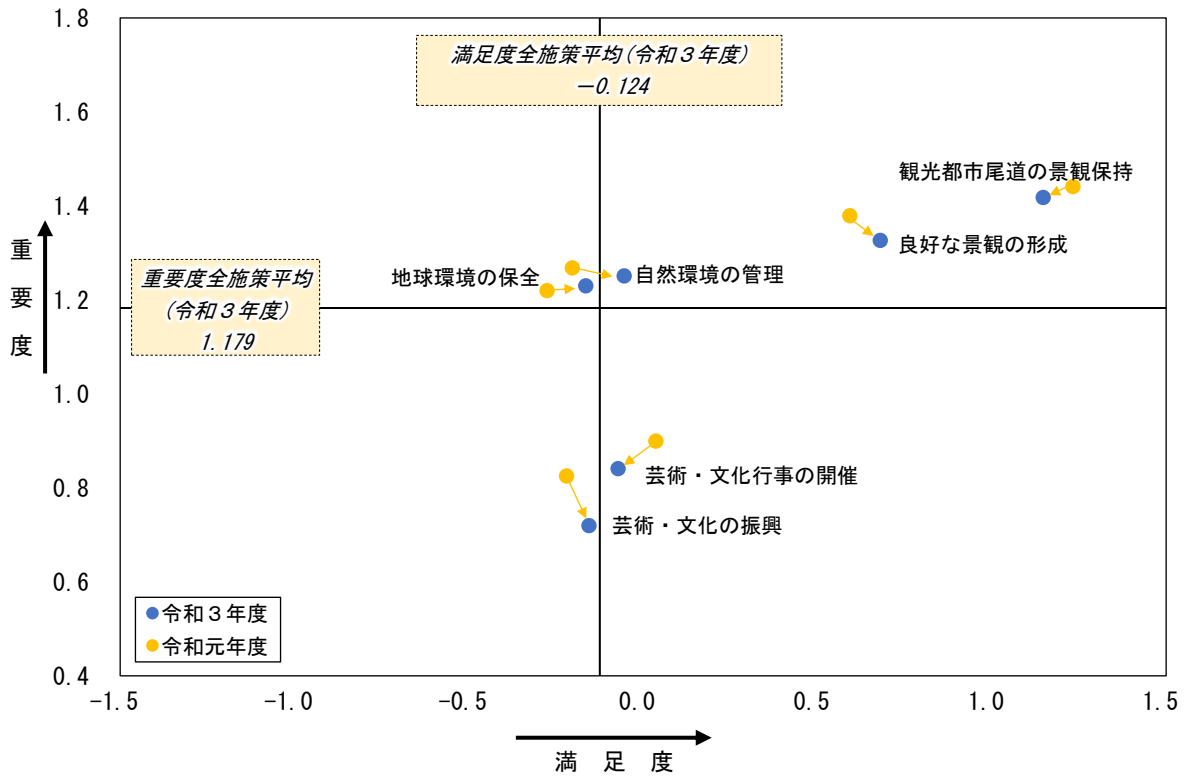
【交通・生活基盤】



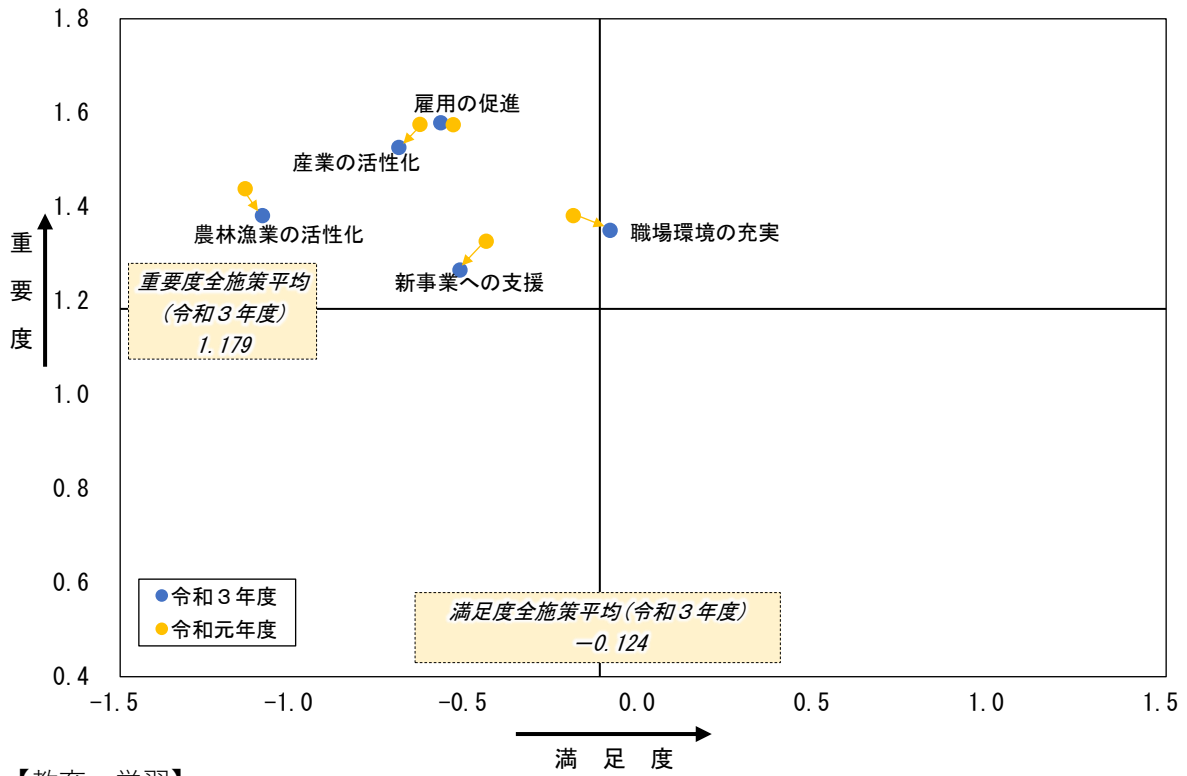
【交流】



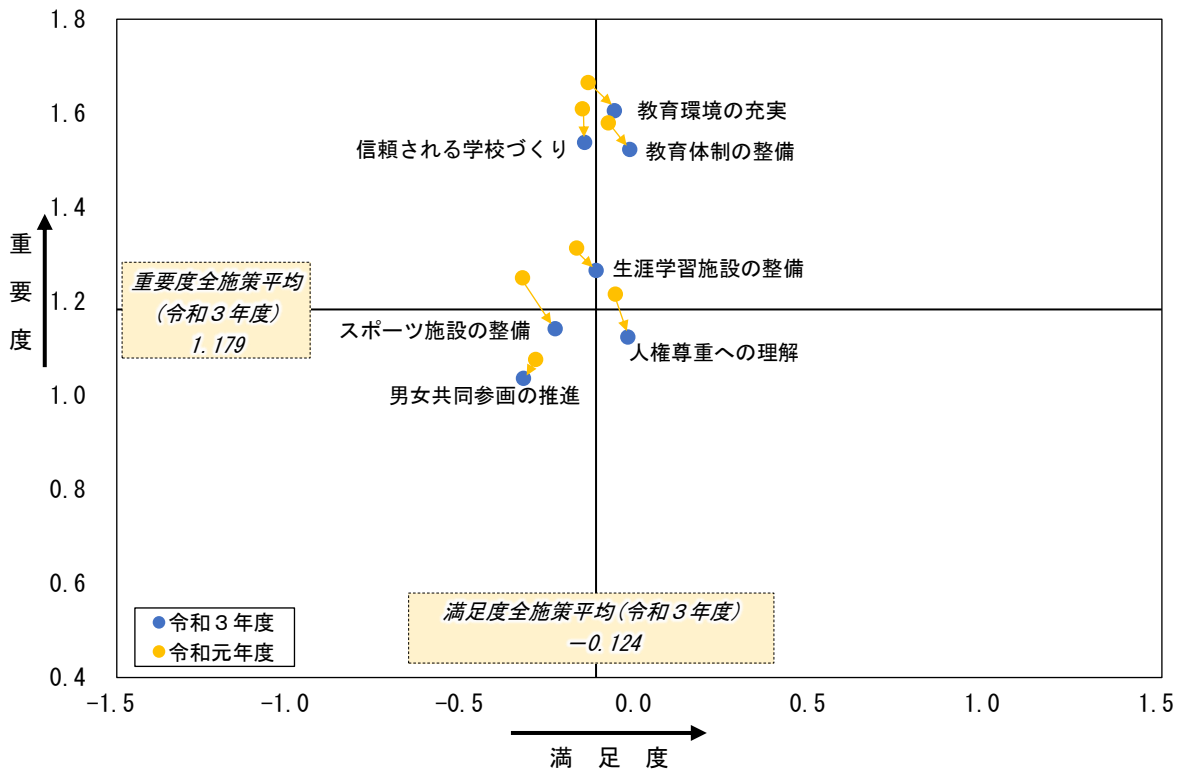
【地域の文化・景観】



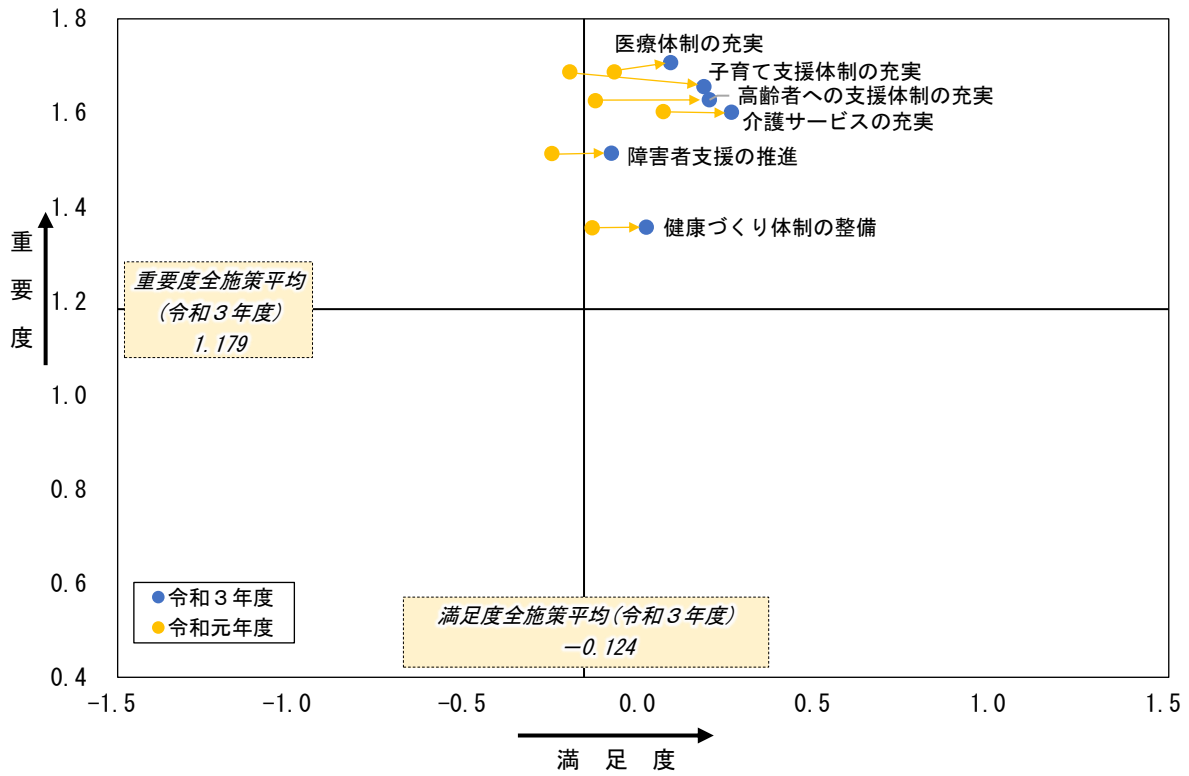
【産業】



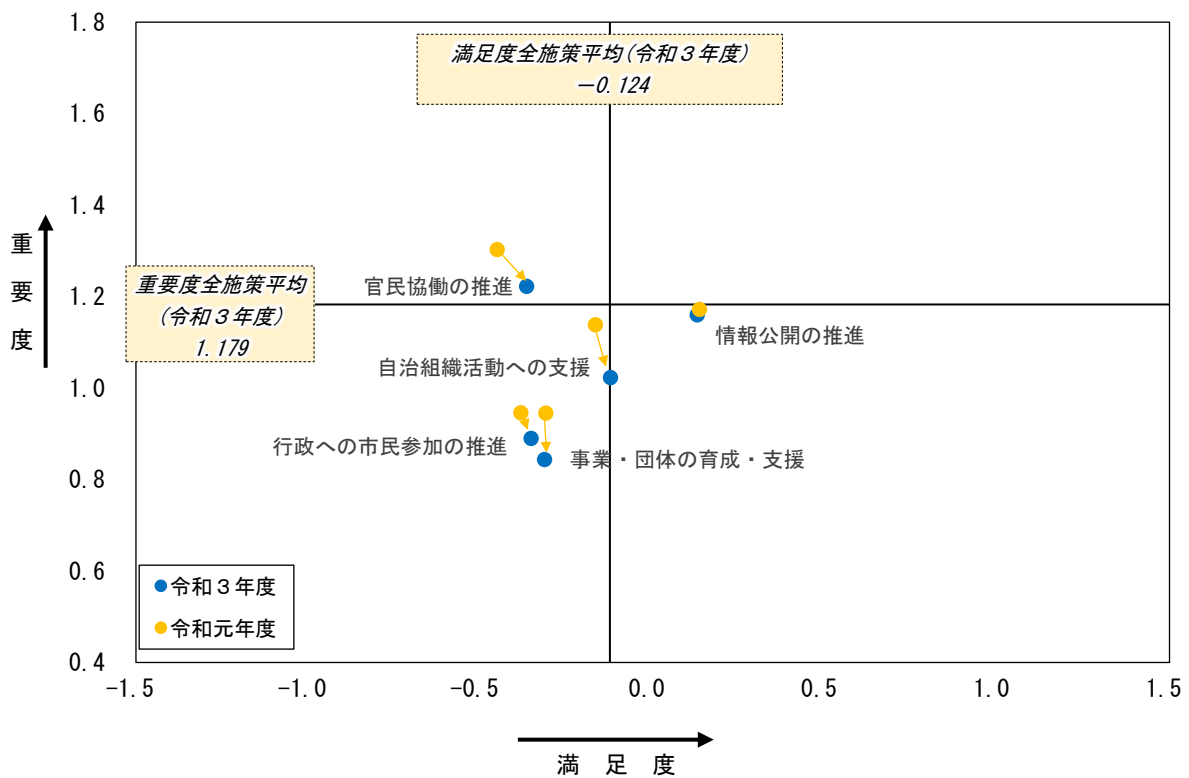
【教育・学習】



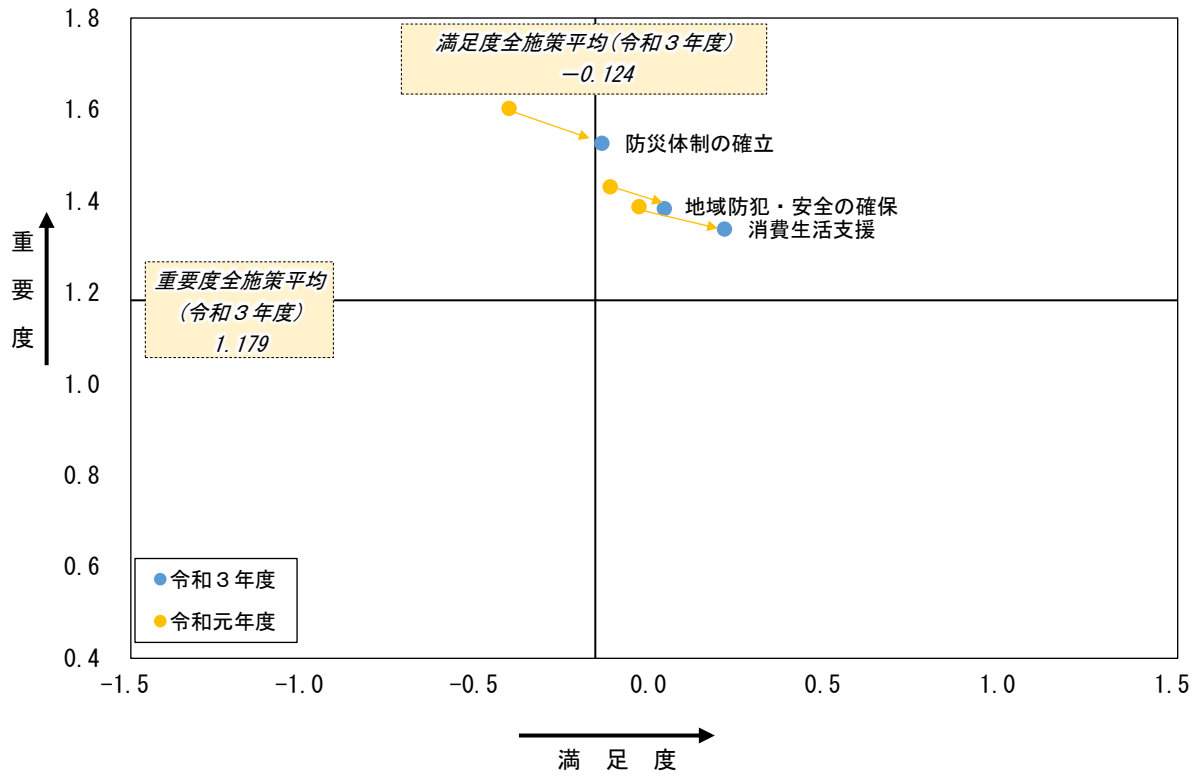
【子育て・医療・福祉】



【市民協働】



【安全・安心】



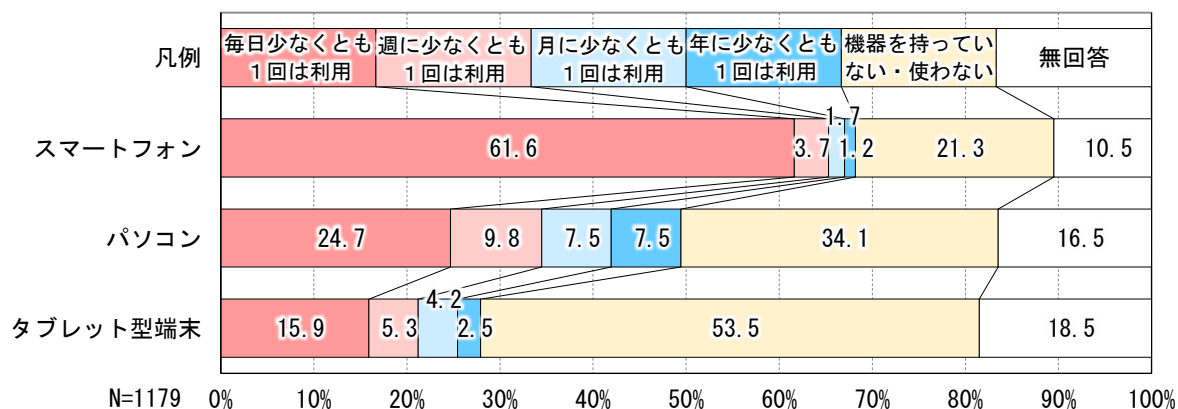
5. デジタル化に関する状況

(1) インターネットの利用状況

「毎日少なくとも1回は利用」は、スマートフォンが61.6%で最も多く、次いでパソコンの24.7%、タブレット型端末の15.9%の順となっています。

一方で、「機器を持っていない・使わない」は、タブレット型端末が53.5%で最も多く、次いでパソコンの34.1%、スマートフォンの21.3%の順となっています。

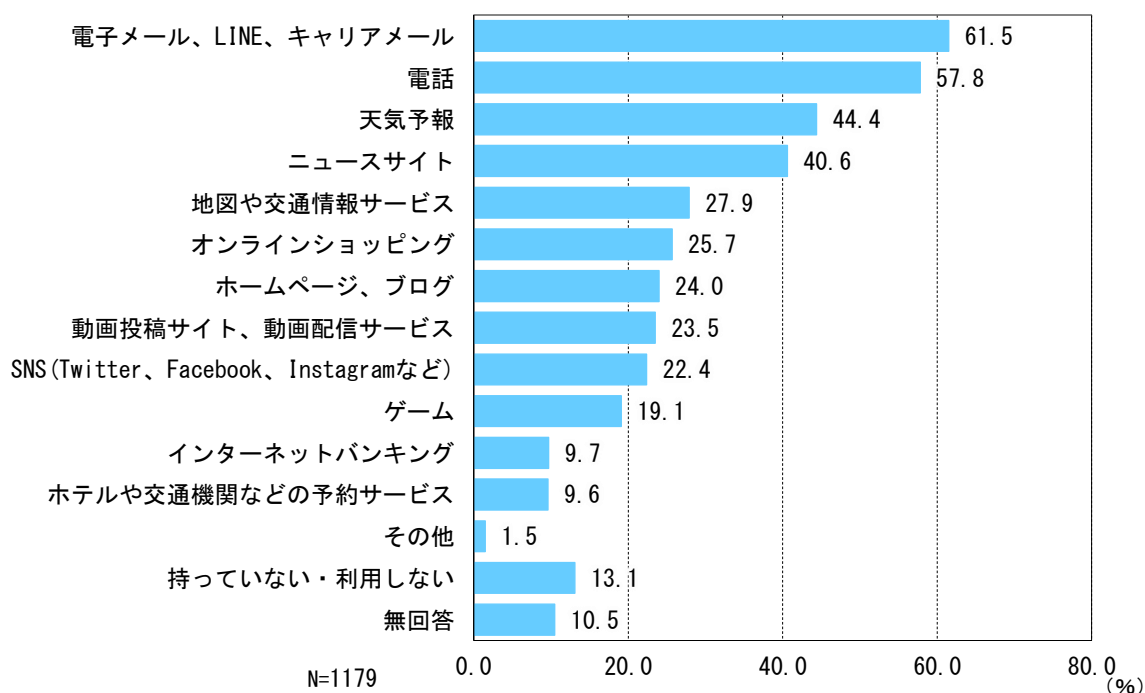
【インターネットの利用状況】



(2) スマートフォンなどで利用しているサービス

「電子メール、LINE、キャリアメール」が61.5%で最も多く、次いで「電話」の57.8%、「天気予報」の44.4%、「ニュースサイト」の40.6%の順となっています。

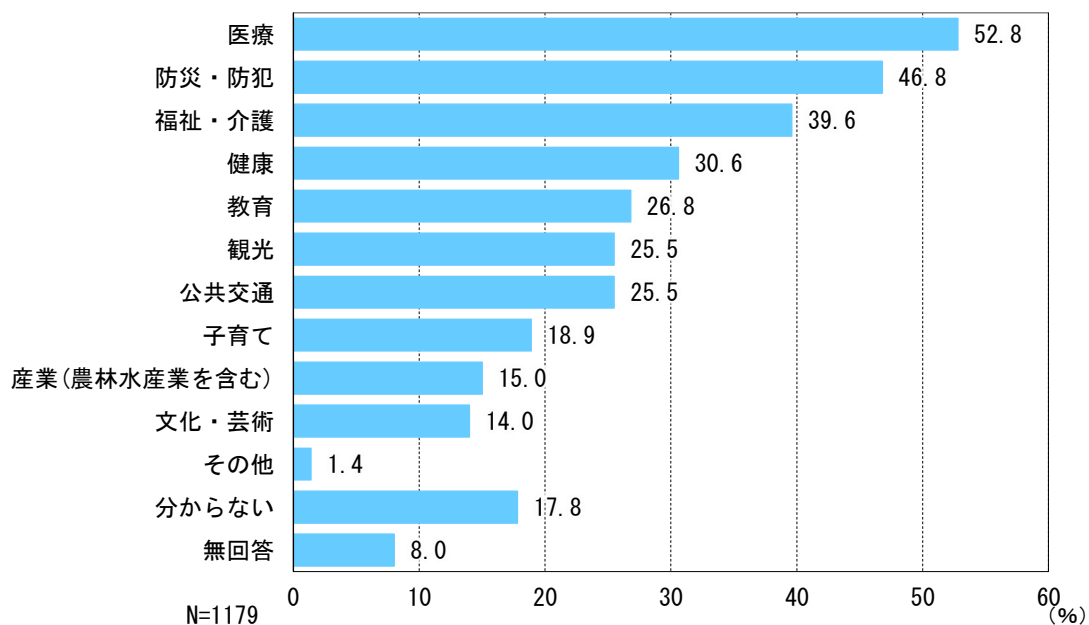
【スマートフォンなどで利用しているサービス】(回答数の多い順)



(3) デジタル技術の活用に期待する分野

「医療」が52.8%と最も多く、次いで「防災・防犯」の46.8%、「福祉・介護」の39.6%の順となっています。

【デジタル技術の活用に期待する分野】（回答数の多い順）

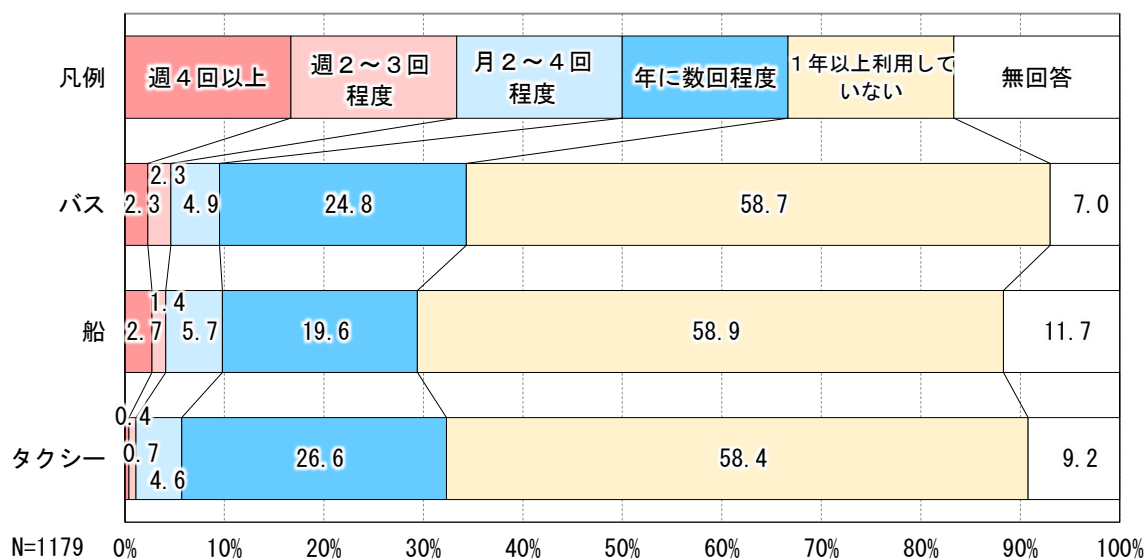


6. 公共交通に関する状況

(1) 公共交通の利用状況

どの公共交通機関も、「1年以上利用していない」が、6割近くで最も多く、次いで「年に数回程度」の順となっています。

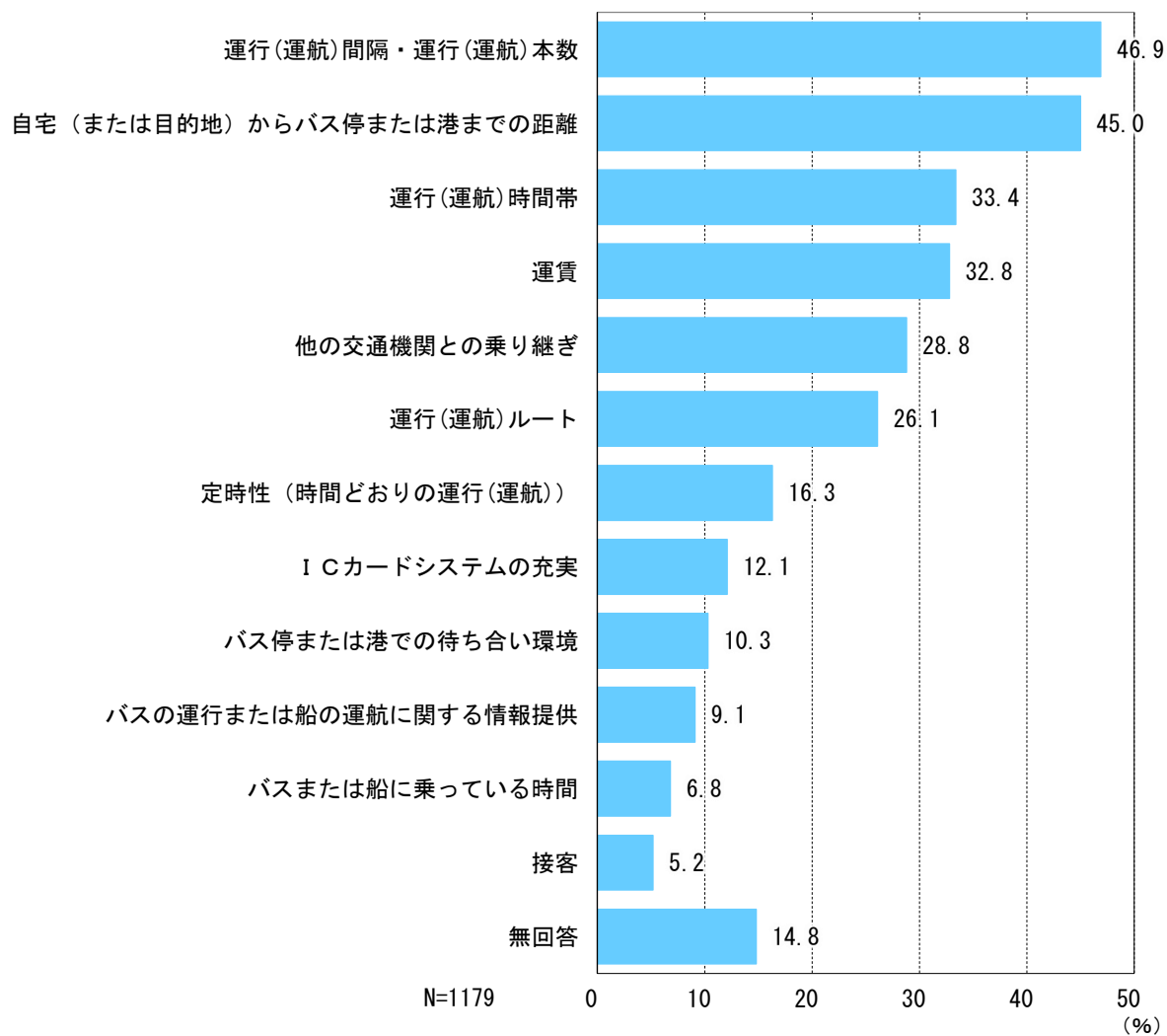
【公共交通の利用頻度】



(2) バスまたは船を利用する場合において重視する点

「運行（運航）間隔・運行（運航）本数」が46.9%で最も多く、次いで「自宅（または目的地）からバス停または港までの距離」の45.0%、「運行（運航）時間帯」の33.4%、「運賃」の32.8%の順となっています。

【バスまたは船を利用する場合において重視する点】（回答数の多い順）

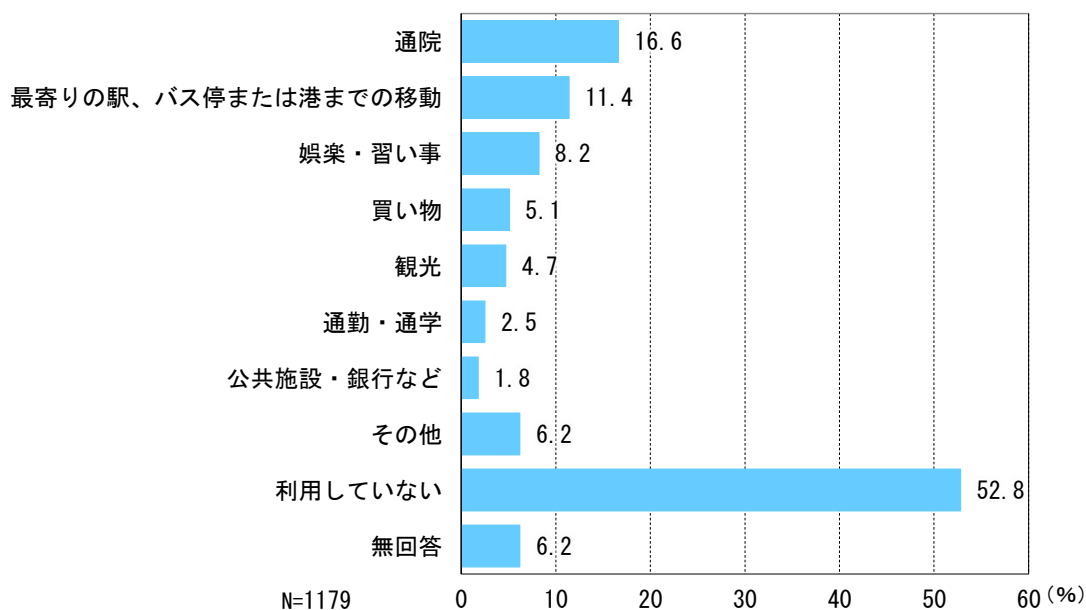


(3) タクシー利用時の移動先と移動理由

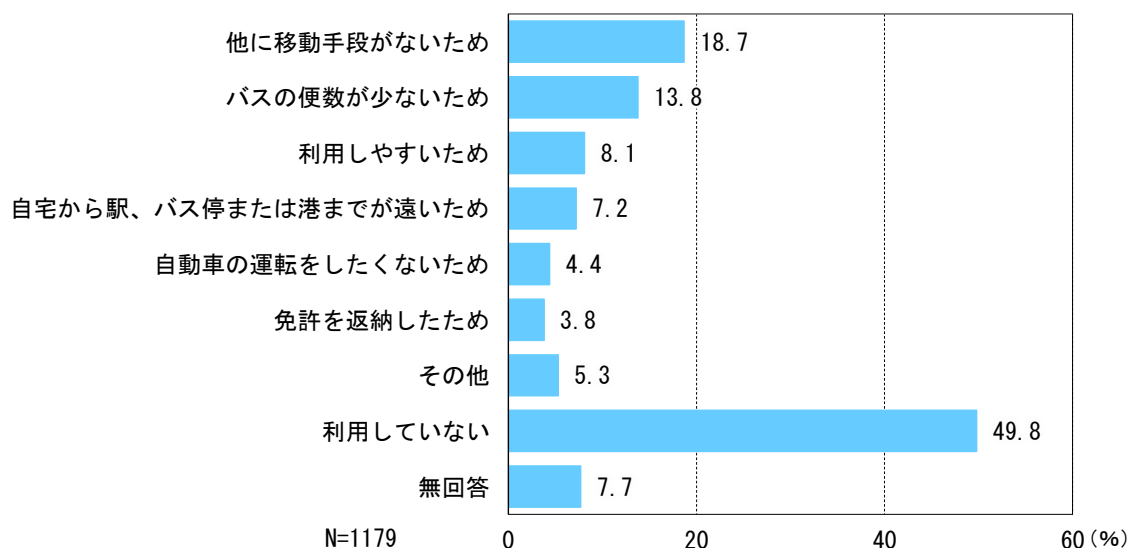
移動先としては、「通院」が16.6%で最も多く、次いで「最寄りの駅、バス停または港までの移動」の11.4%、「娯楽・習い事」の8.2%の順となっています。

移動理由としては、「他に移動手段がないため」が18.7%と最も多く、次いで「バスの便数が少ないため」の13.8%、「利用しやすいため」の8.1%の順となっています。

【タクシー利用時の移動先】（回答数の多い順）



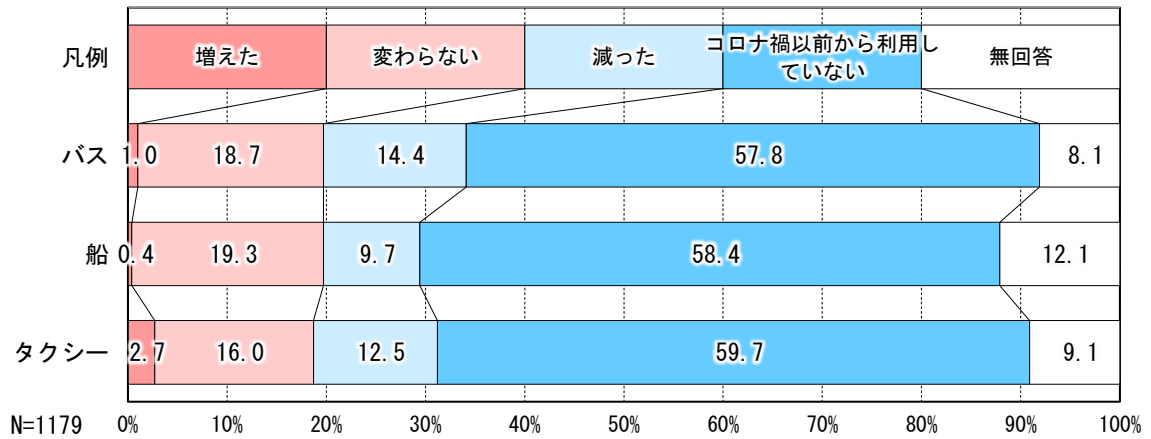
【タクシー利用時の移動理由】（回答数の多い順）



(4) 新型コロナウイルス感染症拡大以前との利用頻度の変化

どの公共交通機関も、「コロナ禍以前から利用していない」が、6割近くになっています。また、タクシーの利用頻度が、「増えた」が2.7%と少し多くなっています。

【新型コロナウイルス感染症拡大以前との利用頻度の変化】

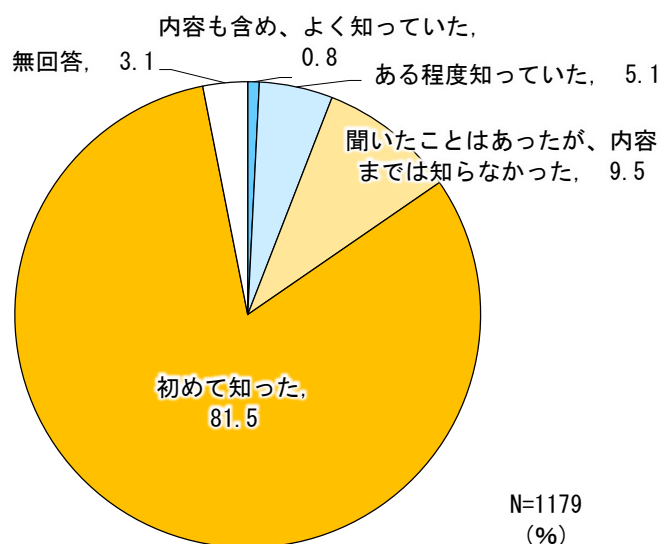


7. 関係人口に関する状況

(1) 関係人口の認識度

「初めて知った」が81.5%で最も多く、次いで「聞いたことはあったが、内容までは知らなかった」の9.5%、「ある程度知っていた」の5.1%の順となっており、認識度は低くなっています。

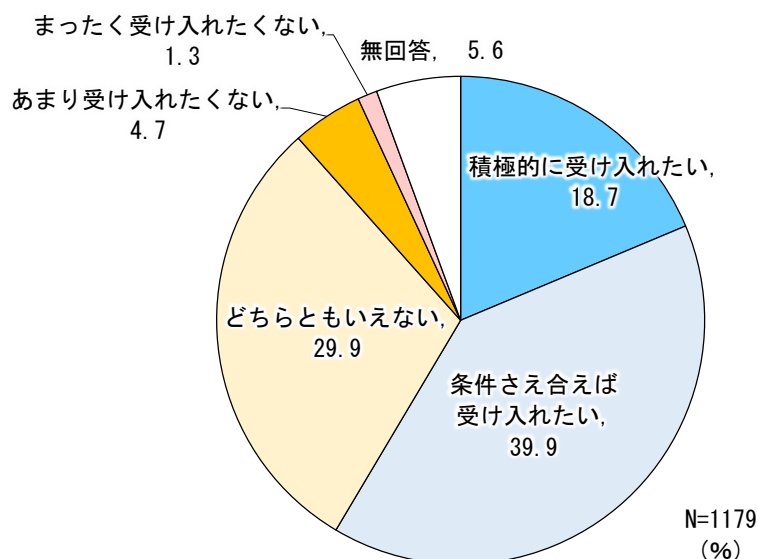
【関係人口の認識度】



(2) 関係人口の人々の活動の受入れに関する評価

「条件さえ合えば受け入れたい」が39.9%で最も多く、次いで「どちらともいえない」の29.9%、「積極的に受け入れたい」の18.7%の順となっており、「条件さえ合えば受け入れたい」と「積極的に受け入れたい」を合わせると、『受け入れたい』は、6割近くを占めています。

【関係人口の人々の活動の受入れに関する評価】



(参考) アンケート調査票

尾道市市民満足度調査 (市民アンケート調査)

～ご協力をお願いします～

市民の皆さまには、日頃より市政運営にご理解とご協力をいただき、心からお礼申し上げます。

尾道市では、平成29年3月に「尾道市総合計画」を策定し、本市の都市像「元気あふれ 人がつながり安心して暮らせる ～誇れるまち『尾道』～」を目指したまちづくりを市民の皆さまと共に取り組んでおります。

このアンケート調査は、尾道市のまちづくりの取組について、広く市民の皆さまのお考えやご意見をお伺いし、これからの市政運営に役立てていくことを目的に実施するものです。

ご多忙とは存じますが、尾道市のより良いまちづくりのために、本アンケート調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和3年5月

尾道市長 宇谷祐亮

【アンケート調査について】

- 尾道市にお住まいの18歳以上の方の中から、無作為に3,000人を抽出し、ご協力をお願いしています。宛名となっているご本人様がご記入ください。
- アンケート用紙や返信用封筒にお名前や住所をご記入いただく必要はありません。また、ご回答いただいた内容は統計的に処理され、特定の個人が識別できる情報として公表されることはありません。

【回答方法について】

- ご回答は、ご自身のことに最も近いと思われる選択肢の番号に○をつけてお選びください。答えたくない質問があった場合は、空欄としてください。
- ご回答は、《郵送》または《インターネット》で行うことができます。どちらかの方法をお選びください。

郵送回答

アンケート用紙に直接ご記入いただき、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに郵便ポストへ投函してください。

インターネット回答

スマートフォン、パソコン、タブレット端末などを使ってインターネットによりご回答いただけます。下記のURLから回答ページにアクセスするか、QRコード読み取りにより回答ページにアクセスしてください。

URL <https://questant.jp/q/onomichi-city2021> QRコード



- 令和3年5月31日(月)までに郵送回答またはインターネット回答いただきますよう、ご協力をお願いいたします。

【お問い合わせ】

〒722-8501 尾道市久保一丁目15番1号

尾道市 企画財政部 政策企画課

TEL: 0848-38-9316

担当: 宗永・應治

あなたご自身のことについて

問1 あなたの性別は。(○は1つ)

1 男性	2 女性	3 その他
------	------	-------

※「3 その他」とは、性的マイノリティを考慮した選択肢です。戸籍上の区分とは別にご自身の主観によりご記入ください。

問2 あなたの年齢は。(○は1つ)

1 18歳～19歳	2 20歳～24歳	3 25歳～29歳
4 30歳～34歳	5 35歳～39歳	6 40歳～44歳
7 45歳～49歳	8 50歳～54歳	9 55歳～59歳
10 60歳～64歳	11 65歳～69歳	12 70歳以上

問3 同居している家族の構成は。(○は1つ)

1 単身	2 夫婦のみ	3 本人と子どもの二世帯
4 本人と親の二世帯	5 三世帯	6 その他

問4 あなたの住まいは。(左側の「回答欄(地域名)」の番号のうち1つに○をつけてください。)

回答欄(地域名)	参考(町丁目)
尾道地域	1 中部 東御所町、西御所町、土堂一～二丁目、十四日町、十四日元町、尾崎本町、東土堂町、西土堂町、長江一～三丁目、東久保町、西久保町、久保一～三丁目、久保町、山波町、尾崎町、防地町、栗原町、門田町、東則末町、西則末町、栗原東一～二丁目、栗原西一～二丁目、桜町、潮見町、天満町、三軒家町
	2 東部 高須町、長者原一～二丁目、東尾道、新高山一～三丁目、西藤町、浦崎町、百島町
	3 西部 吉和町、福地町、吉和西元町、正徳町、古浜町、東元町、沖側町、吉浦町、新浜一～二丁目、手崎町、神田町、平原一～四丁目、日比崎町、久山田町
	4 北部 美ノ郷町、木ノ庄町、原田町
5 御調地域	御調町
6 向島地域	向島町、向東町
因島地域	7 北部 因島鏡浦町、因島外浦町、因島中庄町、因島大浜町、因島重井町
	8 南部 因島土生町、因島三庄町、因島椋浦町、因島田熊町
9 生口島地域	瀬戸田町、因島原町、因島洲江町

問5 あなたは、尾道市(旧御調町、旧向島町、旧因島市、旧瀬戸田町を含む)に住んで、どれくらいになりますか。(○は1つ)

1 5年未満	2 5年以上10年未満
3 10年以上20年未満	4 20年以上

尾道市での暮らしの評価について

問6 あなたは、尾道市に愛着を感じていますか。(〇は1つ)

- | | | |
|-------------|-----------|-------------|
| 1 感じている | 2 やや感じている | 3 どちらともいえない |
| 4 あまり感じていない | 5 感じていない | |

問7 あなたは、尾道市民であることに誇りを感じていますか。(〇は1つ)

- | | | |
|-------------|-----------|-------------|
| 1 感じている | 2 やや感じている | 3 どちらともいえない |
| 4 あまり感じていない | 5 感じていない | |

問8 あなたにとって、尾道市は住みやすいですか。(〇は1つ)

- | | | |
|-----------|-----------|-------------|
| 1 住みやすい | 2 やや住みやすい | 3 どちらともいえない |
| 4 やや住みにくい | 5 住みにくい | |

問9 あなたは、今後も尾道市に住み続けたいですか。(〇は1つ)

- | | | |
|--------------------|---------------|--------------------|
| 1 住み続けたい | 2 当分の間は住み続けたい | 3 <u>どちらともいえない</u> |
| 4 どちらかといえば住み続けたくない | 5 住み続けたくない | ↓
問10へ |

問9で「1 住み続けたい」、「2 当分の間は住み続けたい」と回答した方にお伺いします。

→ 問9-1 あなたが住み続けたいと思う理由は何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1 働きやすい環境が整っている | 2 まちに活気・賑わいがある |
| 3 歴史・文化・芸術が豊かである | 4 文化・スポーツ・レジャー施設が充実している |
| 5 教育環境が充実している | 6 子育て環境が充実している |
| 7 生活環境・住環境が良い | 8 家賃や住宅の価格が手ごろ |
| 9 自然環境が良い | 10 防災・防犯対策が整っている |
| 11 道路事情や交通の便が良い | 12 医療、福祉の施設・サービスが充実している |
| 13 親と同居、または親が近くに住んでいる | 14 友人・知人が近くに住んでいる |
| 15 住み慣れていて、愛着がある | 16 その他 () |

問9で「4 どちらかといえば住み続けたくない」、「5 住み続けたくない」と回答した方に伺います。

→ 問9-2 あなたが住み続けたくないと思う理由は何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 1 働きやすい環境が整っていない | 2 まちに活気・賑わいがない |
| 3 歴史・文化・芸術に触れる機会が少ない | 4 文化・スポーツ・レジャー施設が不足している |
| 5 教育環境に不安がある | 6 子育て環境に不安がある |
| 7 生活環境・住環境が悪い | 8 家賃や住宅の価格が高い |
| 9 自然環境が悪い | 10 防災・防犯対策が不十分である |
| 11 道路事情や交通の便が悪い | 12 医療、福祉の施設・サービスが不十分である |
| 13 親が近くに住んでいない | 14 近くに住む友人・知人が少ない |
| 15 住み慣れておらず、愛着がない | 16 その他 () |

尾道市の政策目標について

問 10 尾道市では、「元気あふれ 人がつながり 安心して暮らせる ～誇れるまち『尾道』～」を将来目指すべき都市像として掲げ、下欄の6項目の政策目標に基づいて事業を実施しています。これらについて、以下の(1)(2)の質問にお答えください。

- 1 活力ある産業が育つまち（産業）
- 2 活発な交流と賑わいのあるまち（観光・交流、景観、移住・定住）
- 3 心豊かな人材を育むまち（歴史・文化・芸術、学校教育、生涯学習）
- 4 人と地域が支え合うまち（協働、人権）
- 5 市民の生活を守る安全のまち（生活基盤、防災・防犯・交通安全、消防、環境）
- 6 安心な暮らしのあるまち（子育て、健康・福祉・医療・介護）

(1) 上記6項目のうち、過去5年間で、どの取組が進んだ（成果が大きい）とされますか。成果を上げたと思う順に番号（1～6）をご記入ください。

成果が大きい ←————→ 成果が小さい

第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位

(2) 上記6項目のうち、今後5年間では、特にどの取組の重要度が高いとされますか。重要度が高いと思う順に番号（1～6）をご記入ください。

重要度が高い ←————→ 重要度が低い

第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位

尾道市で取り組んでいる分野別の満足度・重要度について

問 11 あなたは、尾道市での暮らしに関して、「現状の評価（満足度）」と「今後の取組の重要性」について、どのように思われますか。

【記入例】を参考に、(1)～(46)の質問について、「現状の評価」「今後の取組の重要性」のあてはまる番号を1つずつ選び、「○」で囲んでください。

		現状の評価				今後の取組の重要性			
		そう思う (満足)	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない (不満)	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない
※< >内は関連する尾道市の取組例									
【記入例】		1	2	③	4	①	2	3	4
交通・生活基盤について	(1) 身近な道路を安全に通行できる ＜誰もが歩きやすく、運転しやすい、生活に身近な道路の整備＞	1	2	3	4	1	2	3	4
	(2) 身近なところで緑や水辺に親しめる ＜安全に利用でき、安心して憩える公園の整備＞	1	2	3	4	1	2	3	4
	(3) 生活の基盤が整い、日常的な暮らしが快適にできる ＜市営住宅やごみ・し尿処理施設などの基本的な社会基盤の整備＞	1	2	3	4	1	2	3	4
	(4) 公共交通機関(鉄道、バス、航路など)が利用しやすい ＜安全・安心で利用しやすいサービスの提供＞	1	2	3	4	1	2	3	4
	(5) 安全で使いやすい高速道路や港が整備されている ＜瀬戸内しまなみ海道の利用促進、海の玄関口である港湾施設の活用＞	1	2	3	4	1	2	3	4
	(6) 国道や県道が整備されて、走行しやすい ＜市内各地域を結ぶ国道や県道の整備＞	1	2	3	4	1	2	3	4
	(7) 良好な住環境が整備されている ＜空き家の適正管理の促進、計画的な都市開発による良好な市街地形成の促進＞	1	2	3	4	1	2	3	4
	(8) デジタル技術の活用により、生活の利便性が向上している ＜キャッシュレス化、行政手続きのオンライン申請など＞	1	2	3	4	1	2	3	4
交流について	(9) 市民や観光客などが集まる施設に魅力があり、利用しやすい ＜多くの利用者が快適に利用できる施設の整備＞	1	2	3	4	1	2	3	4
	(10) 市内各地の個性を活かした交流が活発に行われている ＜地域の魅力を活かした賑わいの創出や、広域的な観光などの交流のシステムづくり＞	1	2	3	4	1	2	3	4



※ < >内は関連する尾道市の取組例

		現状の評価				今後の取組の重要性											
		そう思う (満足)	ややそう思う	あまりそう 思わない	そう思わない (不満)	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない								
交流について	(11) 観光客をもてなす心が市民に育っている ＜来訪者に対する「おもてなしの心」を育み、まちぐるみでの観光・交流の促進＞	1	2	3	4	1	2	3	4								
	(12) 国際交流が推進されている ＜海外からの留学生受け入れ、国際交流イベントの開催、外国人観光客の受け入れ体制の整備＞	1	2	3	4	1	2	3	4								
	(13) 他自治体との広域的な交流が進んでいる ＜姉妹都市や近隣市町などと連携した広域的な交流の促進＞	1	2	3	4	1	2	3	4								
	(14) あなたが住んでいる地域のまちなかが賑わっている ＜まちなかでのイベント開催、新たな居住空間としての再整備＞	/															
	① 尾道地域のまちなか									1	2	3	4	1	2	3	4
	② 御調地域のまちなか									1	2	3	4	1	2	3	4
	③ 向島地域のまちなか									1	2	3	4	1	2	3	4
	④ 因島地域のまちなか									1	2	3	4	1	2	3	4
	⑤ 生口島地域のまちなか	1	2	3	4	1	2	3	4								
	地域の文化・景観について	(15) 市民活動を通じて豊かな芸術・文化が継承・創造されている ＜芸術・文化行事の開催・支援、文化財の保全＞	1	2	3	4	1	2	3	4							
(16) 芸術・文化にふれ親しむことができる ＜施設の魅力、利用しやすさの向上、芸術鑑賞機会の充実、次世代の芸術家の育成＞		1	2	3	4	1	2	3	4								
(17) 瀬戸内や里山の自然が大切にされている ＜森林や里山の適切な管理と、地域の実情に応じた生活排水などの処理＞		1	2	3	4	1	2	3	4								
(18) 環境にやさしい暮らし方が定着している ＜地球・地域環境の保全に向けた意識の高揚＞		1	2	3	4	1	2	3	4								
(19) 尾道の景観は観光の面からも大切な財産であり、観光都市尾道として守っていく必要がある ＜尾道市景観条例などの制定による良好な景観の形成、尾道らしい夜間景観の整備＞		1	2	3	4	1	2	3	4								
(20) 尾道らしい景観や風景が良好に保全されている ＜通りの美装化、石畳化、重要文化財建造物の保存修理＞		1	2	3	4	1	2	3	4								



※< >内は関連する尾道市の取組例

		現状の評価				今後の取組の重要性			
		そう思う (満足)	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない (不満)	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない
産業について	(21) 雇用の場が確保・創出されている ＜安定的な雇用の促進＞	1	2	3	4	1	2	3	4
	(22) 地域の産業が活性化している ＜中小企業の安定的な経営・技術開発・人材育成などの促進＞	1	2	3	4	1	2	3	4
	(23) 新しい事業の展開が進んでいる ＜尾道のブランド力を活用した新ビジネスへの支援＞	1	2	3	4	1	2	3	4
	(24) 自分が働いている職場の環境がよい ＜ワーク・ライフ・バランスの推進など、職場環境の充実に向けた啓発＞	1	2	3	4	1	2	3	4
	(25) 農林漁業が活性化し、次の担い手が育っている ＜生産性を高めるための整備、経営の組織化・担い手の育成＞	1	2	3	4	1	2	3	4
教育・学習について	(26) 子どもたちに確かな学力と豊かな人間性が身についている ＜豊かな心の育成、充実した学びの環境整備＞	1	2	3	4	1	2	3	4
	(27) 信頼される学校づくりが進んでいる ＜特色ある学校づくりの推進＞	1	2	3	4	1	2	3	4
	(28) 学校、家庭、地域が協働して子どもたちの教育環境を整えている ＜学校・家庭・地域、それぞれの教育力を活用し合う環境づくり＞	1	2	3	4	1	2	3	4
	(29) 利用しやすい生涯学習施設が整備されている ＜生涯学習センターや公民館での学びの活動支援、施設整備＞	1	2	3	4	1	2	3	4
	(30) 利用しやすいスポーツ・レクリエーション施設が整備されている ＜スポーツなどを楽しむ機会の充実、施設整備＞	1	2	3	4	1	2	3	4
	(31) 一人ひとりの人権が尊重されている ＜人権講演会や広報おのみち、パネル展などを通じた人権啓発＞	1	2	3	4	1	2	3	4
	(32) 男女共同参画が進んでいる ＜男女共同参画を推進するための講演会や広報おのみち、パネル展などを通じた啓発、情報提供＞	1	2	3	4	1	2	3	4

		現状の評価				今後の取組の重要性			
		そう思う (満足)	ややそう思う	あまりそう 思わない	そう思わない (不満)	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない
※ < >内は関連する尾道市の取組例									
子育て・医療・福祉について	(33) 子どもを安心して産み、育てることができる <子育て支援体制の充実、子どもの心と身体の発育の支援>	1	2	3	4	1	2	3	4
	(34) 食生活や運動など健康づくりに対する支援が充実している <生活習慣病予防、健康づくり体制の整備>	1	2	3	4	1	2	3	4
	(35) 医療体制やサービスが充実している <日常から緊急時まで安心できる医療体制の確立>	1	2	3	4	1	2	3	4
	(36) 高齢者が地域社会で安心して暮らしている <介護予防の推進、認知症対策の推進、在宅医療・介護の連携>	1	2	3	4	1	2	3	4
	(37) 必要な介護サービスが提供されている <介護サービスの充実とスムーズな利用>	1	2	3	4	1	2	3	4
	(38) 障害のある人の社会参加や福祉サービスが推進されている <障害のある人が自立して生活できる環境づくり、就労支援>	1	2	3	4	1	2	3	4
市民協働について	(39) 市民や事業者と市との協働が進んでいる <市民ニーズの把握、行政情報の発信、広報機能の充実>	1	2	3	4	1	2	3	4
	(40) 行政情報の広報、情報公開が進んでいる <広報おのみちやコミュニティFMなどを活用した情報発信>	1	2	3	4	1	2	3	4
	(41) 市民活動団体やNPOが育っている <様々な分野のまちづくり事業・団体の育成・支援>	1	2	3	4	1	2	3	4
	(42) まちづくり活動や行政への市民参加が進んでいる <ボランティア団体やNPO団体、市民活動への支援>	1	2	3	4	1	2	3	4
	(43) 地域コミュニティが良好に保たれている <自治組織の活動に対する支援>	1	2	3	4	1	2	3	4
安全・安心について	(44) 市民・地域と市が協力して、市民の暮らしや地域の安全を守っている <カーブミラーなどの設置、地域の交通安全・防犯活動の実施と支援>	1	2	3	4	1	2	3	4
	(45) 安心して消費生活を送れている <消費者被害に関する情報提供、トラブル解決支援>	1	2	3	4	1	2	3	4
	(46) 地域の防災対策が進んでいる <住民参加型の防災訓練など自主防災活動の実施、急傾斜地崩壊対策、海岸保全>	1	2	3	4	1	2	3	4

【デジタル化について】

尾道市では市民生活・企業活動の利便性向上のため、ICTなどのデジタル技術の活用を進めています。そこで、尾道市のデジタル技術を活用したまちづくりの参考とするため、お伺いします。

問 12 あなたのインターネットの利用状況（電子メールの送受信、SNSの利用、ホームページの閲覧、オンラインショッピングなど）について、①～③の各項目からそれぞれ1つ〇をしてください。

	毎日少なくとも 1回は利用	週に少なくとも 1回は利用	月に少なくとも 1回は利用	年に少なくとも 1回は利用	機器を持っていない 使わない
①スマートフォン	1	2	3	4	5
②パソコン	1	2	3	4	5
③タブレット端末	1	2	3	4	5

問 13 あなたがお持ちのスマートフォンなどで、日常生活でよく利用しているサービスは何ですか。（あてはまるものすべてに〇）

1 電子メール、LINE、キャリアメール	2 電話
3 ホームページ、ブログ	4 ニュースサイト
5 SNS(Twitter、Facebook、Instagramなど)	6 動画投稿サイト、動画配信サービス
7 オンラインショッピング	8 ホテルや交通機関などの予約サービス
9 インターネットバンキング	10 地図や交通情報サービス
11 天気予報	12 ゲーム
13 その他（ ）	14 持っていない・利用しない

問 14 あなたは、コミュニケーションや情報収集、商品やサービスの購入など日常生活において「デジタル化が進むこと」に対して、現在不安に感じることがありますか。（〇は1つ）

1 感じる	2 やや感じる
3 あまり感じない	4 感じない

問 14で「1 感じる」、「2 やや感じる」と回答した方にお伺いします。

問 14-1 あなたは、どのようなことに不安を感じますか。（あてはまるものすべてに〇）

1 コンピュータウイルスに感染しないか	2 違法・有害情報を見てしまわないか
3 どこまでセキュリティ対策を行えばよいのか	4 迷惑メールが来ないか
5 個人情報やインターネット利用履歴が外部に漏れていないか	6 架空請求やインターネットを利用した詐欺にあわないか
7 自分や身近な人がインターネット依存になっっていないか	8 ソーシャルメディアなどで相手とトラブルにならないか
9 電子決済を信頼できるか	10 スマートフォンなどを使いこなすことができるか
11 その他（ ）	

問 15 尾道市では行政サービスや日常生活において、市民の皆さまにとってより便利になるようデジタル技術の活用を検討しています。

デジタル技術の活用を期待する分野は何ですか。（あてはまるものすべてに〇）

1 産業(農林水産業を含む)	2 観光	3 文化・芸術
4 教育	5 防災・防犯	6 公共交通
7 子育て	8 健康	9 福祉・介護
10 医療	11 その他（ ）	12 分からない

【公共交通について】

公共交通の利用者は、マイカーの普及により減少しており、また、運転手の高齢化や人材不足などによって、公共交通サービスの低下が懸念されています。そこで、持続可能な公共交通の実現に向けてお伺いします。

問 16 あなたは普段、どのくらいの頻度で公共交通を利用しますか。①～③の各項目からそれぞれ1つ○をしてください。

	週4回以上	週2～3回程度	月2～4回程度	年に数回程度	1年以上利用していない
① バス	1	2	3	4	5
② 船	1	2	3	4	5
③ タクシー	1	2	3	4	5

問 17 あなたはバスまたは船を利用する時、どのような点を重視しますか。（あてはまるものすべてに○）

1 自宅（または目的地）からバス停または港までの距離	2 運行（運航）ルート
3 運行（運航）間隔・運行（運航）本数	4 運行（運航）時間帯
5 運賃	6 バスまたは船に乗っている時間
7 定時性（時間どおりの運行（運航））	8 バス停または港での待ち合い環境
9 他の交通機関との乗り継ぎ （バスからバスへ、バスから船へなど）	10 バスの運行または船の運航に関する情報提供
11 接客	12 ICカードシステム*の充実

※鉄道やバスで使用できる「ICOCA（イコカ）」や、バスで使用できる「PASPY（パスピー）」などの、バスや駅にある電子端末にかざすだけで運賃の支払いができるシステムのこと。

問 18 あなたはどのような移動のためにタクシーを利用しますか。（あてはまるものすべてに○）

1 通勤・通学	2 通院	3 買い物
4 公共施設・銀行など	5 娯楽・習い事	6 観光
7 最寄りの駅、バス停 または港までの移動	8 その他（ ）	9 利用していない

問 19 あなたはどのような理由でタクシーを利用しますか。（あてはまるものすべてに○）

1 他に移動手段がないため	2 自宅から駅、バス停または港までが遠いため
3 バスの便数が少ないため	4 自動車の運転をしたくないため
5 免許を返納したため	6 利用しやすいため
7 その他（ ）	8 利用していない

問 20 新型コロナウイルス感染症が拡大した以前（令和元年（2019年）12月以前）と現状を比較して、公共交通の利用頻度に変化がありましたか。①～③の各項目からそれぞれ1つ○をしてください。

	増えた	変わらない	減った	コロナ禍以前から利用していない
① バス	1	2	3	4
② 船	1	2	3	4
③ タクシー	1	2	3	4

【関係人口について】

近年、地域づくりの中で「関係人口」と呼ばれる人々が注目されています。「関係人口」とは、居住する地域以外の地域のためになる行動・活動に関心や関与を持つ人々で、仕事以外で居住地以外の地域での活動を行うことを指します。

問 21 あなたは「関係人口」という言葉を知っていましたか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------------|-------------|
| 1 内容も含め、よく知っていた | 2 ある程度知っていた |
| 3 聞いたことはあったが、内容までは知らなかった | 4 初めて知った |

問 22 あなたの身の回りで、地域外からやってきて、以下のような行動・活動をしている人はいますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| 1 血縁者や友人の手伝い
(家事、買物、送迎、家屋・土地・田畑山林の管理、農林漁業など家業の手伝い 等) |
| 2 住民活動(自治活動等)の支援
(自治会活動への参加、祭り等の行事支援、清掃・景観保全活動、子どもや高齢者の見守り 等) |
| 3 農林水産業の支援
(農林漁業など家業の手伝い、商品開発・製造・販売の支援 等) |
| 4 ものづくり、商業・サービス業の支援
(地場企業の技術開発・製品開発支援、観光業の振興、商店街活性化、企業の事業承継支援 等) |
| 5 自治体・地域団体等への支援
(まちおこし等の企画・運営、自治体等のICT活用支援、災害復旧・復興支援 等) |
| 6 直接地域を訪れないでの支援
(ふるさと納税、クラウドファンディング、リモートでの各種支援、情報発信 等) |
| 7 その他() |

問 23 あなたは、地域居住者以外が地域内で行動・活動することについてどのようにお考えですか。(○は1つ)

- | | | |
|---------------|-----------------|-------------|
| 1 積極的に受け入れたい | 2 条件さえ合えば受け入れたい | 3 どちらともいえない |
| 4 あまり受け入れたくない | 5 まったく受け入れたくない | |

問 24 あなた自身は、居住地以外の他地域を支援する活動についてどのようにお考えですか。(○は1つ)

- | |
|---|
| 1 現在、他地域の助けとなる行動・活動を行っている(継続的に行動・活動を行っている) |
| 2 過去5年程度内に他地域の助けとなる行動・活動を行ったことがあり、また今後も取り組んでみたい |
| 3 過去5年程度内に他地域の助けとなる行動・活動を行ったことがあるが、今後は取り組んでみたいと思わない |
| 4 これまでに他地域の助けとなる行動・活動を行ったことはないが、関心はある |
| 5 これまでに他地域の助けとなる行動・活動を行ったことはなく、関心がない |

～最後に尾道市の総合計画やまちづくりに関するご意見・ご要望がありましたら、自由にご記入ください～

--

*** ご協力ありがとうございました ***

同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに、5月31日(月)までにご投函ください。